

平成26年度決算

主要施策成果説明書

岐阜県白川村

地方自治法（昭和 22 年法第 67 号）第 233 条第 5 項の規定により、
平成 26 年度白川村一般会計及び特別会計の歳入歳出決算に係る主要
な施策の成果を説明する書類を次のとおり提出する。

平成 27 年 9 月 17 日

岐阜県大野郡白川村長 成 原 茂

目 次

1. 平成 26 年度予算編成の基本方針	1
2. 決算の概要	2
・平成 26 年度一般会計決算状況	3
・平成 26 年度一般会計決算状況（表 1）	4
・会計別歳入歳出決算額集計表（表 2）	5
・平成 26 年度繰越事業費の内訳（表 3）	6
・平成 26 年度基金年度末現在高（表 4）	7
3. 収入の状況（一般会計）	8
4. 財政健全化判断費比率	11
5. 主要施策（一般会計）	13
・ 1 款 議会費	15
・ 2 款 総務費	17
・ 3 款 民生費	26
・ 4 款 衛生費	36
・ 5 款 農林水産業費	41
・ 6 款 商工費	50
・ 7 款 土木費	59
・ 8 款 消防費	64
・ 9 款 教育費	68
・ 10 款 災害復旧費	85
・ 11 款 公債費	87
6. 特別会計	89
・ 国民健康保険 事業勘定の部	90
・ 国民健康保険 直診勘定の部	93
・ 簡易水道	96
・ 温泉開発	99
・ 白弓スキー場	102
・ 公共下水道	105
・ 介護保険 保険事業勘定	108
・ 介護保険 サービス事業勘定	111
・ 後期高齢者医療	114

平成 26 年度予算編成の基本方針

平成 26 年度予算編成は、白川村第 6 次総合計画に掲げる 7 つの基本計画に沿って、これまでの取り組みや成果など進捗状況の確認を踏まえ実施計画に基づく施策を着実に進めていくことにより、産業の振興、生活環境の向上、地域間交流の向上、医療・福祉の充実、教育並びに文化・スポーツの振興・発展、安心・安全なまちづくりの実現を目指し、白川村の地域の活性化並びに地域力の強化を図っていく必要がある。

こうした中、本村の財政状況は長引く景気低迷により税収の増額が見込まれない状況にある一方、診療所移転事業をはじめ消防救急デジタル防災無線事業や公共施設改修事業など投資的経費の増額が予定されているなど、今後はさらに厳しい財政状況が見込まれており、計画的な財政運営が求められている。

平成 26 年度の予算編成は「白川村第 6 次総合計画」に掲げる重点施策を積極的に推進。並びに、「村長マニフェスト」の実現に向け着実な推進する。こうした取り組みに並行し、「白川村第 5 次行政改革大綱」の着実な推進による健全かつ持続的な財政構造を構築していくバランスのとれた予算編成とした。

こうした予算執行を進めるため 5 つの重点項目として以下に示す。

1. 「効率性の重視」

前例を踏襲することなく基本方針に基づく事業展開を視野に入れた上で、全ての事業についてゼロベースによる見直しを行うこと。

2. 「部局間の連携、調整、重複事業の一元化」

主要施策をはじめ複数の部局にまたがる政策課題が存在する。特に、主要施策については事前に関係部局間で十分な連携・調整を行い、重複事業を廃止し事業の一元化を図ること。

3. 「スクラップ&ビルドの徹底」

既存事業並びに新規事業が真に村民のニーズに基づくものか。また、目標達成のために最小限の予算で最大限の効果に繋げることができるのかを十分に検証すること。

4. 「各種団体等に対する補助金の見直し」

社会情勢の変化、補助金目的の達成度、村の関与の必要性等を考慮し見直しを行うこと。

5. 「主要施策への積極的な取り組み」

第 6 次総合計画実施計画に掲げられた主要施策に係る事業については、積極的な予算要求ができるものとする。



決算の概要

- 一般会計
- 特別会計

【平成 26 年度一般会計決算状況】

一般会計の歳入決算額は、対前年度比 6,103 万円増額（1.8 ポイント増）の 33 億 7,348 万円になった。この他、7 つの特別会計の歳入合計金額を合わせた村の歳入予算額は、対前年度比 1 億 6,955 万円増額（4.1 ポイント増）の 43 億 5,158 万円である。

これに対し、一般会計の歳出決算額は、対前年度比 2,896 万円増額（0.9 ポイント減）の 32 億 353 万円になった。また、特別会計の歳出合計金額を合わせた村の歳出予算額は、対前年度比 7,599 万円増（1.9 ポイント増）の 41 億 4,468 万円である。

一般会計においては、歳入歳出ともに前年度よりも増になった。主な要因としては、昨季における豪雪に伴い土木費のうち、除雪関係事業費 1 億 75 万円増（213.7 ポイント増）となった。また、教育費においては、中学校体育館耐震等改修事業 8,465 万円及び学校施設整備事業 5,028 万円など教育環境の整備を進めたことが主な要因である。

特別会計においては、新白川診療所を世界遺産集落の景観向上並びに利便性及び施設の安全性の向上を目的として、荻町集落内から鳩谷地内へ移転新築を行ったことにより、国民健康保険直診勘定が 1 億 693 万円増（220.0 ポイント増）となった。

歳入歳出差引額から翌年度へ繰越すべき一般財源を差し引いた実質収支は、一般会計では 1 億 2,980 万円であった。自治体の財政状況を確認するための標準財政規模から算出する実質収支比率は、前年度比 3.1 ポイント増の 7.4%となっており 3~5%が理想とされおり、増加傾向にあるため注視しながら改善を図るべきところである。

特別会計においては、いずれも財源不足を補うため一般会計からの繰出金により財政安定化を図られているが、特別会計独立採算の原則から、効率的な収入財源の確保並びに歳出削減を図るなど、一般会計と同様に健全財政に向けた財政運営を今後も取り組む必要がある。

表 2

平成26年度 会計別歳入歳出決算額 集計表

単位：千円

区 分	予算のうち前年度からの 繰越明許費 (ア)	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	うち翌年度への繰越明 許費一般財源 (エ)	前年度の収支差引残額との対比		執行率 % (B)/(イ)	
	予 算 現 額 (イ)			収支差引残額 (A)-(B)=(C)	前年度の収支 差引残額 (D)	増 減 (%) ((C)/(D)-1)*100	歳出不用額(ウ)-(B)	
	繰越明許費を除く予算現 額 (イ)-(ア)=(ウ)			実質収支額 (C)-(エ)			繰越明許費を除く執 行率 % (B)/(ウ)	
一 般 会 計	237,428	3,373,477	3,203,528	40,149	63,625	167.1	87.5	
	3,662,874			169,949			221,918	
	3,425,446			129,800			93.5	
特 別 会 計		228,558	215,940		12,297	2.6	97.1	
	国民健康保険 (事業勘定)			222,367			12,618	6,427
				222,367			12,618	97.1
国民健康保険 (直診勘定)		203,071	196,378		8,594	△ 22.1	97.4	
	201,693			6,693			5,315	
	201,693			6,693			97.4	
簡易水道		68,805	68,491	0	70	348.6	98.1	
	69,851			314			1,360	
	69,851			314			98.1	
温泉開発		80,187	78,468		1,071	60.5	97.6	
	80,422			1,719			1,954	
	80,422			1,719			97.6	
白弓スキー場		26,827	24,672		938	129.7	94.6	
	26,075			2,155			1,403	
	26,075			2,155			94.6	
公 共 下 水 道		141,500	139,552		908	114.5	98.2	
	142,094			1,948			2,542	
	142,094			1,948			98.2	
介 護 保 険 (事業勘定)		200,994	191,993		6,516	38.1	94.7	
	202,820			9,001			10,827	
	202,820			9,001			94.7	
介 護 保 険 (サービス事業勘定)		2,959	579		2,723	△ 12.6	19.6	
	2,953			2,380			2,374	
	2,953			2,380			19.6	
後 期 高 齢 者 医 療		25,202	25,083		258	△ 53.9	99.4	
	25,225			119			142	
	25,225			119			99.4	
小 計		978,103	941,156	0	33,375	10.7	96.7	
	973,500			36,947			32,344	
	973,500			36,947			96.7	
合 計	237,428	4,351,580	4,144,684	40,149	97,000	113.3	89.4	
	4,636,374			206,896			254,262	
	4,398,946			166,747			94.2	

表 3

一般会計

(単位：千円)

款 別	事 業 名	翌年度 繰越額	左の財源内訳	
			未収入 特定財源	翌年度へ繰越 すべき財源
総 務 費	白川村総合戦略策定事業	8,000	6,478	1,522
	移住交流促進事業	6,100	4,000	2,100
	都市住民交流促進事業	4,000	3,000	1,000
民 生 費	在宅障がい者・老人等支援事業	6,540	3,000	3,540
農林水産業費	清流の国ぎふ森林・環境基金事業	18,059	18,059	0
	白川郷展望台多目的トイレ新築事業	4,804	4,802	2
	白山林道岐阜県管理事務所駐車場舗装工事	5,228	5,227	1
商 工 費	消費喚起・生活支援プレミアム商品券発行事業	5,800	5,000	800
	大白川園地施設整備事業	17,991	0	17,991
	荻町地区公園整備事業	30,500	25,600	4,900
土 木 費	道の駅EV充電器整備事業	6,821	3,689	3,132
	社会資本整備総合交付金防災・安全 交付金事業（道路維持費）	21,000	19,172	1,828
	社会資本整備総合交付金防災・安全 交付金事業（道路新設改良費）	53,416	50,166	3,250
消 防 費	消防救急デジタル無線整備事業	108,983	108,900	83
	合 計	297,242	257,093	40,149

特別会計

(単位：千円)

会計別	事 業 名	翌年度 繰越額	左の財源内訳	
			未収入 特定財源	翌年度へ繰越 すべき財源
	合 計	0	0	0

○一般会計における繰越事業は 14 事業を繰越した。内、消防救急デジタル無線整備事業にあつては、雪害による工事完了が遅れたことによる事故繰越である。特別会計にあつては繰越事業は無かつた。

社会資本整備事業の内訳は次のとおりである。

【社会資本整備総合交付金事業（道路維持費）】

- ・村道椿原芦倉線芦倉橋補修工事 21,000 千円

【社会資本整備総合交付金事業（道路新設改良費）】

- ・村道木谷稗田線落石対策工事 35,424 千円
- ・村道荻町下ゴソ線退避所設置工事 17,992 千円

表 4

平成 26 年度末現在基金残高

(単位：千円)

区分・基金名		平成25年度 末現在高	平成26年度			差 増	引 減	対前年度 伸び率
			積立額	取崩額	現在高			
積 立 基 金	財 政 調 整	2,485,248	25,000		2,510,248	25,000	1.0	
	減 債	220,000			220,000	0	0.0	
	(小 計)	2,705,248	25,000		2,730,248	25,000	0.9	
	り 災 救 助	10,000			10,000	0	0.0	
	ふるさと農村活性化	6,000			6,000	0	0.0	
	せせらぎ公園小呂駐車場整備	6,849	7,978		14,827	7,978	53.8	
	奨学資金給付	15,250	48		15,298	48	0.3	
	小坂育英資金交付	27,785	87		27,872	87	0.3	
	坂本教育振興	29,000			29,000	0	0.0	
	少年スポーツ振興	11,000			11,000	0	0.0	
	世界遺産合掌造り集落保存協力	24,449	6,960		31,409	6,960	22.2	
	生活交通路線バス運行支援	4,274		4,274	0	△ 4,274	皆減	
	岐阜県消防操法大会運営基金	15,000		15,000	0	△ 15,000	皆減	
	小水力自家発電所基金	13,762	13,270		27,032	13,270	49.1	
	(その他特定目的基金の小計)	163,369	28,343	19,274	172,438	9,069	5.3	
積立基金の合計		2,868,617	53,343	19,274	2,902,686	34,069	1.2	
定額運 用基金	土 地 開 発	33,000			33,000	0	0.0	
	定額運用基金の合計	33,000			33,000	0	0.0	
合 計		2,901,617	53,343	19,274	2,935,686	34,069	1.2	
積立基金	国 民 健 康 保 険	29,190	90	20,000	9,280	△ 19,910	△ 214.5	
	公 共 下 水 道	95,000	5,000		100,000	5,000	5.0	
	介 護 保 険 財 政 調 整	1,506	4	1,510	0	△ 1,506	皆減	
	小水力自家発電所	10,822		10,822	0	△ 10,822	皆減	
積立基金の合計		136,518	5,094	32,332	109,280	△ 27,238	△ 24.9	
総 合 計		3,038,135	58,437	51,606	3,044,966	6,831	0.2	

○財政調整基金は、地方自治法に基づき前年度からの純繰越金 6,283 万円の 1/2 以上を積み立て額と財源不足による財政調整基金の取崩し額を相殺し、2,500 万円の積み立てを行った。

生活交通路線バス運行支援基金及び岐阜県消防操法大会運営基金は平成 26 年度を持って廃止とした。特別会計に属する小水力自家発電所基金は、一般会計に属する基金へ統合したことにより廃止とした。



収入の状況

- 一般会計

【一般会計歳入の状況】

一般会計の歳入決算のうち、最も大きなものは「地方交付税」の11億5,362万円、対前年度比1億4,870万円減額（11.4ポイント減）となっている。主な要因としては、普通交付税算定における「地域経済・雇用対策費」に係る単位費用額の変更に伴い1億8,047万円減額されたことが主な要因である。特別交付税にあっては、昨季の豪雪により1,765万円増額されている。

2番目に大きなものは「村税」の7億276万円で、対前年度比600万円減額（0.8ポイント減）となっている。主な要因としては、82.7%を占める固定資産税は、大規模償却資産税の性質上の理由により毎年減少するため、882万円減（2.0ポイント減）となっている。また、村民税にあっては、311万円増（3.4ポイント増）と近年は減少傾向にあったものが増額に転じた状況となっているが、未だ低い状況から抜け出せずにおり引き続き注意が必要である。

「国庫支出金」は対前年度比9,605万円増（35.7ポイント増）の36,523万円となっている。主な要因としては、村道有家ヶ原橋線有家ヶ原橋改修事業など平成25年度より繰越された国庫補助金を伴う大規模事業が完了したことにより2億729万円の補助金を受けたことなどが主な要因となっている。

「県支出金」は対前年度比万円増（5.1ポイント増）の11,058万円となっている。県支出金のうち主なものは、電源立地地域対策交付金5,268万円や、大白川園地整備事業に対する補助金1千万円などの事業に対して補助金を受けている。

「財産収入」は対前年度比609万円減（6.9ポイント減）の8,225万円となっている。要因としては、小水力発電が気象等の影響による発電中断したことにより532万円の減が主なものである。

「寄附金」は対前年度比15万円増（0.2ポイント増）の6,369万円となっている。主に、世界遺産合掌造り集落保存寄付金が4,383万円となるなど、世界遺産保護をはじめとする寄付金が寄せられている。

「分担金及び交付金」は対前年度比178万円減（6.9ポイント減）の2,381万円となっている。主に高山市から常備消防職員派遣負担金2,223万円が含まれている。

以上が、平成26年度一般会計歳入決算の概要である。これら収入により、行政運営並びに第6次総合計画に基づく重点施策を実施し一定の成果を上げることができた。

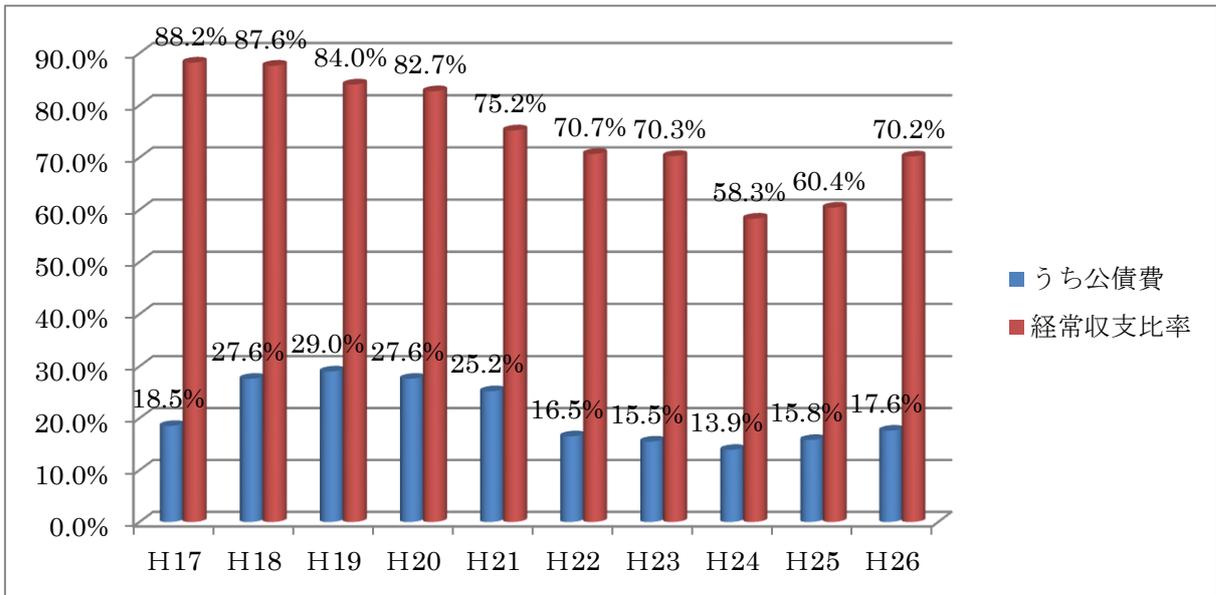
経常収支比率

1. 経常収支比率の推移

平成 26 年度の経常収支比率は 70.2% になり、前年度より 9.8 ポイント悪化した。経常収支比率は、人件費等の経常的に支出する経費に村税等の経常的収入をどれだけ充当しているかを示している。比率が下がるほど投資的経費や臨時的な経費にまわすことができる割合が増えることになるため、指標はできるだけ低い方が財政運営の弾力性を高めることになる。

【経常収支比率の推移】

(図 1)

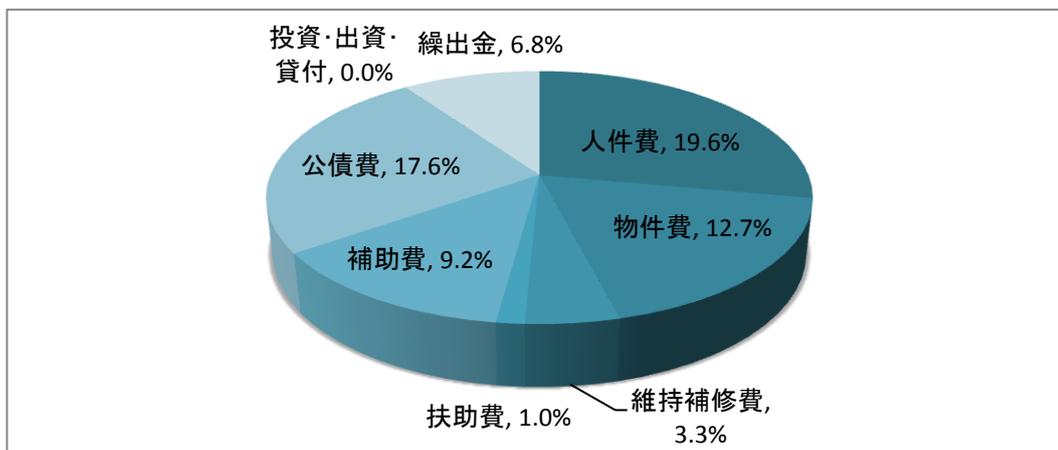


2. 経常収支比率の構成

経常収支比率は、地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する比率であり、経常的に収入される一般財源（地方税、地方譲与税、地方交付税）を分母に、その内、経常経費（人件費、物件費、維持補修費、扶助費、補助費等、公債費）として支出する経費に充当する一般財源を分子として算出する。24 年度より 2 カ年連続し上昇した。要因として歳入面における一般財源の減少。一方、歳出面にあっては、対 24 年度比として人件費が 2.1 ポイント、公債費が 3.7 ポイント、物件費が 4.1 ポイント、それぞれ増加によるところが大きい。

【平成 26 年度経常収支比率 70.2%】

(図 2)



平成26年度

財政健全化 判断比率

財政健全化判断比率の状況

健全化法において、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するものとして、以下の4つの財政指標を「健全化判断比率」として定めている。

■ 実質赤字比率（早期健全化基準 15.0%・財政再生基準 20.0%）

一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率により算出する比率であり、村の財政運営の悪化により赤字が発生した場合に生じる指標といえる。

平成26年度決算において、財政赤字が生じていないため比率はマイナスとなったことから当該指標には該当していない。

■ 連結実質赤字比率（早期健全化基準 20.0%・財政再生基準 30.0%）

一般会計以外に公営企業会計等の別会計を含めた全会計の合算して赤字の程度を示すための比率であり、複数の会計のうち一つの会計が赤字が生じると全会計として大きな課題となる指標である。

平成26年度決算において、一般会計並びに特別会計ともに財政赤字が生じていないため比率はマイナスとなったことから当該指標には該当していない。

■ 実質公債費比率（早期健全化基準 25.0%・財政再生基準 35.0%）

村税や普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち公債費や公営企業債に対する繰出し金などの公債費を含めた実質的な公債費相当額に充当されたものに占める比率である。

本村では、財政健全化計画に基づき公債費の抑制に務めており、前年度比0.1ポイント増加し1.2%と低い値を示しており安定した財政運営が行われている。

■ 将来負担比率（早期健全化基準 350.0%）

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率である。一般会計等の借入金や公営企業、組合、設立法人等に対して将来支払っていく可能性のある負担等について現時点での残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標である。

平成26年度決算において、将来負担率が発生していないため当該指標には該当していない。

主要施策

一般会計

- 目的別

主要施策記載説明

○款 ○○費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
			【○○○○○】 ○○○○○		○, ○○ ○	○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○	○○
			【 】				
			上段【 】には担当課 下段には事業名				
						決算額の内訳 ・目（節）別に区分	
			【 】			事業の成果	決算書の頁

主要施策

1款 議会費

- 総務課

1 款 議会費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
1	1	1	【総務課】 議員共済	7,592	7,723	町村議会議員共済会へ議員の退職年金や遺族年金等の支給のため在職議員数に応じ負担金を納めている。退職年金 7 名、遺族年金 12 名計 17 名の受給実績。(約 6,300 千円/年)	32
						共済費 (議員共済会負担金 7,603) (議員共済会事務局費負担金 120)	
1	1	1	【総務課】 議会臨時経費	711	97	議員の政務活動費として、年 27,000 円/人が目的に応じ支給されている。講演会開催時講師謝礼 (2 回)、議員の研鑽研修 (3 人)、視察訪問の際の手土産とした。	32
						交付金 (政策活動費交付金)	
1	1	1	【総務課】 視察研修費	793	661	東京陳情及び茅場視察 1 回 (2 泊 3 日)、特別委員会正副委員長の茅刈機視察 1 回 (2 泊 3 日) に対する費用弁償及び事務局随行のための普通旅費。	32
						旅費 (費用弁償 613) (普通旅費 48)	

主要施策

2款 総務費

- 総務課
- 村民課
- 観光振興課

2 款 総務費

(単位:千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
2	1	1	【総務課】 一般管理臨時経費	33	149	村自治功労者並びに村長表彰、それぞれに記念品を贈呈した。	32 ～ 33
						報償費 149 (白川村長表彰 対象者 1 名 49) (自治功労者表彰 対象者 5 名 100)	
2	1	1	【総務課】 白川村例規集デジタル化事業	2,410	2,479	村条例等をデジタル化することで HP 等にて広く周知ことを目的として、例規追録 65 件。新規条例相談 20 件を実施した。	32 ～ 33
						委託料 1,442 (例規集データ更新追録作製業務) 使用料(条例ポータルシステム使用料) 1,037	
2	1	1	【総務課】 区長会補助事業	299	243	防災をテーマに名古屋市港区防災センター及び浜岡原子力発電所を参加者 11 名で視察した。	32 ～ 33
						補助金(区長会補助金) 243	
2	1	1	【総務課】 白川村マイクロバス運行業務委託事業	6,822	7,020	公共交通の利用が困難なことから、団体等の活動に要するバス運行支援する。村内外で 166 回の利用があり、各団体の活動に寄与している。	34 ～ 35
						委託料(マイクロバス運行業務委託) 7,020	
2	1	3	【総務課】 新公会計制度導入経費	264	1,018	公会計移行に伴う会計士等に係るコンサルを委託する事により、適正かつ円滑な公会計処理を行うことができています。	34
						旅費(普通旅費) 1 委託料(公会計制度合同コンサル委託料) 1,017	
2	1	5	【総務課】 財産管理臨時経費	36,166	940	地域要望対応。老朽化が進んでいた橋場コミュニティセンターの屋根のトタノ葺き替えを行った。	34 ～ 35
						工事請負費 940 (橋場コミュニティセンター屋根トタノ葺き替え)	

2款 総務費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
2	1	5	【総務課】 電算管理臨時経費	0	10,571	<p>総合行政システムへの移行経費。システムのクラウド化により、機器管理の簡素化及び保守費用が減少した。</p> <p>委託料（総合行政システム導入委託事業） 9,641</p> <p>工事請負費（ライブカメラ更新工事） 267</p> <p>負担金（中間サーバー利用負担金） 663</p>	34 ～ 35
2	1	5	【総務課】 電算管理一般経費	13,042	12,394	<p>職員用パソコン及び財務会計システムの保守料及び機器リース料。また岐阜情報スーパーハイウェイ負担金を支出した。</p> <p>委託料（電算機器等保守委託） 5,197</p> <p>需用費 553</p> <p>（プリンター等消耗品 499）</p> <p>（LGWAN 装置修繕 54）</p> <p>使用料（電算機器リース料） 3,958</p> <p>負担金（岐阜県スーパーハイウェイ） 2,675</p> <p>備品購入費（ICフォーマッター） 11</p>	34 ～ 33
2	1	5	【総務課】 庁用車リース事業	2,473	2,524	<p>職員が会議等への出張する際に使用する車両を確保し、車両の整備等安全管理に努めている。</p> <p>賃借料（庁用車 5台） 2,524</p>	34 ～ 35
2	1	5	【総務課】 不動産登記委託事業	921	1,031	<p>寺尾土地購入事業に係る土地鑑定業務委託を行った。</p> <p>委託料（不動産登記業務委託 3件） 1,031</p>	34 ～ 35
2	1	5	【総務課】 地域イントラネット管理経費	7,440	8,007	<p>役場と診療所などの出先機関を結ぶネットワークシステムの保守・維持管理経費。</p> <p>需用費（インターネット回線増設修繕費） 603</p> <p>委託料（地域イントラネット維持管理保守費） 6,282</p> <p>使用料 1,121</p> <p>（電柱敷き賃料 4）</p> <p>（プロバイダ使用料 1,117）</p>	34 ～ 35

2 款 総務費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
2	1	5	【総務課】 庁舎管理業務 (PKP)事業	0	1,510	庁舎の清掃等管理業務を民間へ委託し、施設管理の向上並びに雇用の場の確保を図っている。	34 ～
						委託料(庁舎管理業務)	1,510
2	1	5	【総務課】 寺尾土地購入事業	0	122,984	世界遺産バッファゾーンに位置する私有地を買い上げることで、景観上、計画的な土地利用を図ることが可能になった。	34 ～
						公有財産購入費(土地購入費2件) 120,262 役務費(土地購入仲介手数料) 2,722	
2	1	6	【総務課】 財政調整基金積立金	575,000	25,000	会計規則に基づき基金の積み立てを行った。前年度は基金の見直を実施したことにより積立額が増加している。	35
						積立金(財政調整基金積立金)	25,000
2	1	7	【総務課】 交通安全協会白川支部補助金	360	360	村の交通安全を図るため、高山地区交通安全協会白川支部へ活動補助金を交付した。	35
						負担金(交通安全協会白川支部)	360
2	1	8	【総務課】 若者等通勤就職者助成事業	2,440	2,220	40歳未満の定住促進を目的に実施。26年度は11名に助成し、若者が村に住みながら村外へ通勤することを可能とした。	35 ～
						補助金(交付対象者11名)	2,220
2	1	8	【観光振興課】 ふるさと博士認定事業	693	1,000	自発的な学びを促すためふるさとcafe等4事業を実施。これにより多くの村民が村について勉強する機会を増やすことができた。	35 ～
						委託料(認定業務)	1,000
2	1	8	【観光振興課】 都市住民交流促進事業	0	0	都市住民の来村、レポート、移住を図るため、村の食、文化、暮らし、遊び、人の魅力などを都市部での単独イベントにてお届けし、参加者の好奇心を刺激する。	35 ～
						当該事業は、全額翌年度へ繰越しとする。	

2 款 総務費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
2	1	8	【観光振興課】 元気な地域づくり推進事業	2,676	4,587	村民の積極的な村づくりを目的として、先進地視察や白川郷ブランド制度の確立、飯舘村との交流を行ったことにより村民が活発に動ける仕組みを創設した。	35 ～ 36
						補助金(村づくり活動支援事業1件) 36 交付金(緊急新産業創出研究費) 4,551	
2	1	8	【観光振興課】 空き家再生活用事業	1,000	8,817	移住者や現村民の定住支援を目的として、購入及び改修に係る経費の補助を行った。これにより3世帯、10名の定住につながった。	35 ～ 36
						補助金 8,817 (空き家購入事業 1件 1,000) (空き家改修事業 4件 7,817)	
2	1	8	【総務課】 景観審議会経費	370	536	審議会員(7名)の報酬・費用弁償等。平成26年度は重点景観形成地区の見直しを行った。	35 ～ 36
						報酬費(審議会委員7名) 55 報償費(審議会委員3名) 120 旅費(費用弁償) 361	
2	1	8	【観光振興課】 起業者支援事業	0	6,810	雇用環境が脆弱な本村において、村民の起業について支援することで、定住促進を図る。事業採択は、審査会により決定した4名に補助金を交付した。	35 ～ 36
						補助金(起業者支援事業4件) 6,810	
2	1	8	【観光振興課】 地域おこし協力隊募集事業	1,003	805	村づくりに新たなアイデアを活かすため、首都圏にてイベントを開催。4名の新協力隊員獲得に繋げ、村の新たな魅力や動きを全国に向けて発信することができた。	35 ～ 36
						旅費(普通旅費) 427 食糧費(手土産代) 3 役務費(募集に係る広告料) 173 委託費(募集イベント企画運営委託) 81 使用料(募集イベント会場借上料2会場) 121	

2 款 総務費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
2	1	8	【観光振興課】 地域おこし協力 隊事業	2,132	13,506	村の新たな魅力や協力隊のアイデアを村づくりに活かすため、3名の協力隊を採用。農家民泊や求人情報の提供など観光から村の仕組みまで新たな取り組みを行うことができた。	35 ～ 36
						給与(給与等 3名) 7,634 旅費(普通旅費) 52 需用費 650 (事務用品等消耗品 76) (車両燃料費 44) (名刺印刷費 2) (宿舎光熱水費 2名 528) 使用料 2,676 (車両 3台 1,254) (宿舎 2名 1,213) (PC 3台 209) 交付金(活動交付金) 2,494	
2	1	8	【観光振興課】 旧平瀬小学校再 生活用事業	0	1,264	旧平瀬小学校校舎の利活用を目的として、検討委員会の答申を受けた計画に基づき、改修工事の基本設計業務を委託した。	35 ～
						委託費 1,264 (旧平瀬小学校改修工事基本設計)	36
2	1	8	【観光振興課】 白川村総合戦略 策定事業	0	0	第6次総合計画の前期検証と後期見直し、併せて国の地方創生による地方版総合戦略と人口ビジョンを融合した計画を策定する。	35 ～
						当該事業は、全額翌年度へ繰越しとする。	36
2	1	8	【観光振興課】 移住交流促進事 業	0	0	交流及び定住人口の増加を目的にシェアハウスを整備する。その改修作業をワークショップにより実施し、作業や地域との関わりの中で、参加者自身が移住者またはファンとなることを目指す。	35 ～
						当該事業は、全額翌年度へ繰越しとする。	36

2 款 総務費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
2	3	1	【村民課】 戸籍住民基本台帳臨時経費	0	9,359	社会保障・税番号制度に係るシステム改修（既存住基システム・住民基本台帳システムに個人番号を表示・連携させる機能）を行った。 委託料 9,359 （社会保障・税番号制度対応システム改修業務委託事業）	37 ～ 38
2	3	1	【村民課】 住民情報電算化事業	7,073	14,324	従来のシステムから（庁内にあるサーバーと端末間関係）、クラウド型（ネットワークを使用してデータ関係）へ移行を行った。 需用費（ラミネーター消耗品） 24 委託料 13,100 （総合行政情報システム等保守料 11,425） （総合行政情報システム等業務委託料 1,675） 使用料 1,200 （総合行政情報システム等機器リース料）	37 ～ 38
2	3	1	【村民課】 戸籍電算化事業	6,504	5,091	戸籍システムの運用のために必要な経費（システム提供元への保守料・使用料、機器の賃借料） 需用費（マルチプリンタ購入消耗品） 12 委託料（戸籍総合システム保守料） 1,413 使用料 3,666 （戸籍電算ソフト使用料 1,296） （戸籍総合システムリース料 2,370）	37 ～ 38
2	3	1	【村民課】 住民基本台帳ネットワーク化事業	3,572	1,566	住民の基本4情報（氏名、性別、生年月日、住所）を11桁の番号で一括管理する。住基ネットと市町村の既存住基（住民記録システム）を連携させるためのシステムの管理・維持を行う。番号制度以降後も引き続き使用されるためのシステム改修を行った。 委託料 599 （住民基本台帳ネットワーク機器等保守料） 使用料 967 （住民基本台帳システム機器リース料）	37 ～ 38

2 款 総務費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
2	4	3	【総務課】 衆議院議員選挙費	0	2,688	衆議院議員選挙にかかる経費で、公職選挙法に基づき、忠実かつ正確な執行を行った。	38 ～ 39
						報酬(委員報酬4人) 128 手当(職員手当32名) 1,831 旅費(普通旅費) 5 需用費 125 (選挙券用紙代他消耗品 111) (弁当代 14) 役務費 73 (選挙用郵便料 40) (計数器点検作業手数料 33) 委託料 526 (選挙啓発車看板作製 164) (選挙用住民情報処理業務 362)	
2	4	4	【総務課】 岐阜県議会議員選挙費	0	249	岐阜県議会議員選挙にかかる経費で、公職選挙法に基づき、忠実かつ正確な執行を行った。	38 ～ 39
						旅費(普通旅費) 4 需用費(入場券用紙代他消耗品) 81 役務費(選挙用郵便料) 2 委託料 162 (選挙啓発車看板作製 49) (選挙用住民情報処理業務 113)	
2	4	8	【基盤整備課】 農業委員会選挙費	0	38	農業委員会選挙にかかる経費で、忠実かつ正確な執行を行った。選挙長1人と立会人3人に委員報酬を支払った。	38 ～ 39
						報酬(委員報酬費4人) 37 旅費(普通旅費) 1	

2款 総務費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
2	5	2	【総務課】 工業統計調査費	50	36	製造業を営む生産要素、活動の成果を調べ、工業に関する資料をえることが出来た。 報酬(調査員報酬 1人) 14 旅費(普通旅費) 2 需用費(事務用消耗品) 20	39
2	5	2	【総務課】 農林業センサス調査費	1	315	農林業の生産構造や就業構造、土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を調査し、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成した。 報酬(調査員報酬 7人) 291 旅費(普通旅費) 13 需用費(事務用消耗品) 11	39
2	5	2	【総務課】 経済センサス調査費	0	178	事業所及び企業の経済活動の状態を調査し、各種統計調査のための事業所及び企業の名簿を作成した。 報酬(調査員報酬 3人) 163 旅費(普通旅費) 4 需用費(事務用消耗品) 10	39
2	5	2	【総務課】 全国消費者実態調査	0	699	家計の実態を調査し地域別の世帯の所得分布、消費の構造等に関する基礎資料を作成した。 報酬(調査員報酬 2人) 448 報償費(調査員報償費 3人) 161 旅費(普通旅費) 74 需用費(事務用消耗品) 10 役務費(調査書送付郵送日) 6	39
2	5	2	【総務課】 国政調査準備費	0	28	平成27年度国勢調査のための調査区等確定など準備を行った。 旅費(普通旅費) 18 需用費(事務用消耗品) 10	39

主要施策

3款 民生費

- 村民課
- (保育園)
- 教育委員会

3 款 民生費

(単位:千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
3	1	1	【村民課】 社会福祉総務臨時経費	0	2,811	消費税増税に伴う低所得者に対する暫定的・ 臨時的な措置（全額国庫補助）を実施した。	39 ～ 40
						需用費 132 （事務用消耗品 5） （医師昼食費等食糧費 127） 委託料（臨時給付金システム開発委託） 1,274 補助金（臨時福祉給付金 2名） 1,405	
3	1	1	【村民課】 介護手当支給事業	2,520	2,540	要介護3以上の認定者を在宅で介護されて いる世帯に支給する。	39 ～ 40
						扶助費（支給対象者 90名） 2,540	
3	1	1	【村民課】 遺族会補助金	890	90	戦没者の慰霊や顕彰活動、役員会研修等の 開催、会員相互の親睦を支援する目的で補助 金を交付した。	39 ～ 40
						補助金（白川村遺族会） 90	
3	1	1	【村民課】 身体障がい者補 装具給付費	80	950	補装具給付を行うことにより身体障がい者 の日常の生活をサポートしている。	39 ～ 40
						扶助費（介護用購入費用扶助1件） 950	
3	1	1	【村民課】 身体障がい者日 常生活用具給付 費	93	54	地域の実情にあわせ、障害福祉サービスでは対 応できないサービスを要綱・規則により、日常生 活用具給付を行った。	39 ～ 40
						扶助費（障がい者日常生活用具扶助2人） 54	

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
3	1	1	【村民課】 障がい福祉サービス費給付事業	11,764	8,133	障害者総合支援法に基づく福祉サービス費の給付。個々の障害の度合を調査により決定し給付を行う。	39
						手数料(障害介護給付費等) 12 委託費(総合支援関係システム改修委託料) 291 負担金(障害介護給付費等) 7,830	40
3	1	1	【村民課】 緊急通報サービス事業	1,290	1,484	65歳以上の独居高齢者の家に緊急通報装置を設置する。昨年度よりも登録者が増加し、支出額が増加した。	39
						委託料(緊急通報サービス委託料) 1,220 使用料(緊急通報サービス機器使用料) 264	40
3	1	1	【村民課】 自立支援医療給付事業	1,290	607	障害者自立支援法に基づき、自立支援医療：心身の障害を除去・軽減するための医療について、医療費の自己負担額を軽減する公費負担医療制度を行う。	39
						手数料(自立支援医療審査支払) 5 扶助費(自立支援医療費(更生・育成)) 602	40
3	1	1	【村民課】 在宅障がい者支援事業	3,699	4,818	在宅障がい者の生活支援を目的に、人工透析者の通院送迎、通院費の助成を行う。H26年度より運転業務の委託をシルバー人材センターから共立メンテナンスに変更し、送迎の安定と安全を図った。	39
						需用費(燃料費) 845 委託料(シルバー人材センター委託料) 2,469 使用料(人工透析者移送車リース料) 700 扶助費(在宅障がい者交通費助成) 804	40
3	1	1	【村民課】 在宅障がい者・老人等支援事業	0	0	在宅障がい者及び老人等の生活支援を目的に、通院送迎や通院費の助成を行う。障害者等の負担軽減を図り生活の質の向上を進める。	39
						需用費 0 委託料 0 使用料 0 ※事業費 6,540 千円を翌年度繰越とする。	40

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
3	1	1	【村民課】 障がい者福祉計 画策定事業	0	972	第 3 期白川村障害福祉計画の終了に伴い第 4 期の計画を策定し、障がい者福祉の計画的推 進を図った。	39
						委託費 (白川村第 4 期障害福祉計画策定)	972
3	1	1	【村民課】 障がい者地域生 活支援事業	0	286	障がい者の相談、情報提供、助言などの支 援や虐待の防止、早期発見を目的に、飛騨地 域 3 市 1 村で地域生活支援センター共同運営する ことで、障がい者福祉の向上に貢献した	39
						委託費 (精神障害者地域活動支援センター等委託)	286
3	1	1	【村民課】 不妊治療費助成 事業	130	752	不妊治療を受けている夫婦に対し、治療費 の一部を助成することで、経済的負担の軽減 を図り、生命を育み、人生を豊かにすること を目的として実施している。	38
						扶助費 (不妊治療費助成 3 件)	752
3	1	1	【村民課】 外出支援事業	6,501	11,976	自動車運転が困難になり引きこもりがちな 高齢者の外出支援を目的に、「まめなカー」を 村内で無料運行し、お年寄りの通院や買い物 のための交通手段を提供できた。	39
						需用費 (燃料費他) 役務費 (自動車損害保険料他) 委託費 (まめなか運行业務)	1,005 46 10,925
3	1	1	【村民課】 結婚支援事業	1,819	1,878	少子化対策として村民の晩婚化、未婚化を 防ぐ目的で、結婚支援事業を実施した。この 事業をきっかけに 2 組の方が結婚された。	39
						委託費 (社会福祉協議会結婚支援他) 扶助費 (結婚祝金 7 件)	1,178 700

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
3	1	1	【村民課】 子ども・子育て 支援新制度施行 事業	2,100	1,944	白川村子ども子育て支援事業計画の策定業 務を委託した。国の制度に沿った各条例・規 則の改定を行った。	39 ～ 40
						委託費 1,944 (白川村子ども・子育て支援事業計画策定 業務委託料)	
3	1	1	【村民課】 子ども・子育て 支援事業 ※前年度繰越分	0	3,272	子ども・子育て支援新システムの導入、市町村 システムと国のシステム(子ども・子育て支援全国総 合システム)とのインターフェース連携テストの実施。	39 ～ 40
						委託料(子ども子育て支援システム導入) 3,272	
3	1	2	【村民課】 生きがい活動支 援通所事業	5,063	4,862	独りで過ごすことの多い高齢者の孤独感の 解消、介護の予防を目的に、デイサービスセンターの 運営を愛知慈恵会への補助金方式により実施 し、お年寄りの入浴や食事、リクリエーションなどの サービスを提供できた。	40 ～ 41
						需用費(デイサービスセンター修繕料) 262 補助金(生きがい活動支援事業所) 4,600	
3	1	2	【村民課】 ホームヘルプサービ ス事業	3,400	3,400	在宅生活をしている高齢者へホームヘルプを派 遣し、日常生活の簡易な支援ができた。	40 ～ 41
						委託料(ホームヘルプサービス事業) 3,400	
3	1	2	【村民課】 敬老会開催経費	1,694	1,210	村の礎を築かれてきたお年寄りに敬意を表 し、楽しんでいただくために敬老会を開催し、 70歳以上の方110名参加していただいた。	40 ～ 41
						報償費(百歳記念祝金(米寿喜寿)) 263 需用費 486 (敬老会開催消耗品 9) (お弁当他食糧費 477) 委託料(イベント派遣委託他) 441 使用料(戸島公民館会場借上料) 20	

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
3	1	2	【村民課】 老人クラブ 連合会 補助金	620	1,210	単位老人クラブ間の連絡調整、老人福祉及び地域福祉増進に寄与する目的で、補助金を交付。村内4つの老人クラブの連合会である白川村明生長寿連合の講演会、研修会、体育大会などの活動費として活用された。	40 ～ 41
						補助金 (老人クラブ 連合会補助金)	
3	1	2	【村民課】 老人等住宅屋根 雪下し事業	223	716	高齢者等の冬の暮らしの安全確保と福祉の向上を目的に、屋根雪下ろし等の費用を助成。当村の特徴ある制度として高齢者福祉に寄与している。	40 ～ 41
						補助金 (屋根雪下し補助金 26 件)	
3	1	2	【村民課】 老人日常生活用 具給付費	774	623	要介護3以上の認定者を在宅で介護している世帯にみづ等を村から支給する。	40 ～ 41
						扶助費 (みづ等日常生活用具給付)	
3	1	2	【村民課】 老人温泉入浴扶 助費	639	628	高齢者、障害者の福祉増進を目的に、村内の温泉施設で年間10回まで利用できる入浴助成券を配布し、温泉での保養と生活にうるおいを提供した。	40 ～ 41
						需用費 (印刷製本費入浴券 500 冊)	
						扶助費 (老人等温泉入浴助成)	599

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
3	1	2	【村民課】 シルバー人材センター 運営費補助金	735	245	高齢者の社会参加・貢献・いきがづくり と労働力提供を目的に、シルバー人材センターの運営 費を補助することで、センターの自立・共働活動 を推進した。	40 ～ 41
						補助金（シルバー人材センター運営補助）	
3	1	2	【村民課】 高齢者バス利用 費助成事業	284	277	高齢者の移動を支援する目的で、村外への 唯一の公共交通機関であるバスの定期代の半 額を助成し、高齢者の村外通院や買い物の負 担を軽減できた。	40 ～ 41
						扶助費（高齢者バス利用助成 2 社）	
3	1	2	【村民課】 居宅介護支援事 業所運営委託事 業	1,800	1,800	業務の高度化、効率化を目的に、平成 19 年 度まで村直営で運営していた居宅介護支援事 業所を愛知慈恵会に運営委託した。	40 ～ 41
						委託料（居宅介護支援事業）	
3	1	2	【村民課】 独居高齢者等配 食サービス	68	50	独居高齢者の食生活への不安解消、安否確認 を目的に、配食サービスを実施。栄養バランスのと れた食事を提供できた。 ・週 2 回の夕食宅配を実施 1 食 200 円補助	40 ～ 41
						委託料（独居高齢者等配食サービス）	

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
3	1	3	【村民課】 老人福祉センター臨時経費	869	143	施設の老朽化による雨樋等の修繕を実施したことにより、良好な施設管理を行った。	41
						需用費（福祉センター施設修繕 3 件）	
3	1	3	【村民課】 県単福祉医療費助成事業	12,412	10,111	社会的、身体的にハンディのある方の医療費負担を軽減する目的で、直接的経済支援を行い、村民福祉の向上が図られた。	41
						扶助費（医療費に係る扶助費）	
3	1	3	【村民課】 児童等医療費助成事業	3,373	3,376	子育てに関する不安を軽減する目的で、児童等医療に係る費用を負担し、少子化対策子育て支援となった。	41
						扶助費（児童等医療費）	
3	1	4	【村民課】 後期高齢者医療費	23,913	23,759	岐阜県後期高齢者医療広域連合会に対する医療給付費負担金及び保険事業に係る負担金を支出した。	41
						負担金 （後期高齢者医療給付費 16,498） （後期高齢者医療保険基盤安定 7,261）	

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
3	2	1	【保育園】 児童福祉総務臨時経費	967	846	インフルエンザ流行時等における空気感染予防に努めた。外周フェンス掲示園名看板、移動式ワイレスアンテナを整備し保育環境の改善を図った。	42
						需用費（保育園加湿器薬剤 100L 消耗品） 36 備品購入費（音響設備、看板等） 810	43
3	2	1	【保育園】 父母の会補助経費	90	90	両園父母の会に活動運営補助を行ったことにより、保護者との交流がより密接になったとともに、園が進める保育事業をより一層深めることができた。	42
						補助金（保育園父母の会） 90	43
3	2	1	【村民課】 学童保育事業	350	1,140	子育て家庭の学童の健全育成と就労の両立を目的に、学童保育事業を実施。学童保育運営委員会の事業を補助することで、H26 年度は 12 名の学童が利用した。	42
						旅費（普通旅費） 9 需用費 291 （学童保育に係る消耗品 31） （中学校体育館 2 階和室畳修理 260） 使用料（鳩谷公民館） 60 請負工事費（中学校体育館 2 階和室） 252 補助金（放課後児童クラブ運営費） 528	43
3	2	1	【保育園】 児童福祉業務委託事業（PKP） 事業	0	2,994	日々の給食運搬及び合同保育等における園児移動用バス運転業務を委託したことにより、園側における労力の軽減と、園児に対する保育環境がより一層充実させることができた。	42
						委託費（保育園給食運搬業務） 2,994	43
3	2	1	【村民課】 子育て世帯臨時特例給付金事業	0	3,250	平成 26 年 2 月分の児童手当受給児童に対し、一律一万円の給付金の支給を行った。	42
						需用費（制度説明パンフレット用紙代） 3 役務費（臨時給付金給付申請用切手代） 9 委託費（臨時給付金システム開発委託） 928 補助金（子育て世帯臨時給付金） 2,310	43

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書	
款	項	目		25 年度	26 年度			
3	2	2	【村民課】 児童手当支給事業	27,715	27,140	中学を卒業するまでの全ての児童の保護者（公務員受給者は除く）に対し手当を支給する。	43	
						扶助費（児童手当支給 2,365 人）		27,140
3	2	2	【保育園】 保育所臨時経費	7,219	8,896	園舎入口上部の外壁補修等、平瀬保育園外壁等改修工事並びに、温水供給ヒーターの更新を行ったことにより、保育環境の整備ができた。	43	
						委託費（平瀬保育園外壁改修設計）		356
						工事請負費（平瀬保育園外壁改修）	5,680	
						備品購入費（平瀬保育園無圧ヒーター）	2,860	
3	2	3	【教育委員会】 児童公園管理一般経費	326	1,601	需用費（平瀬児童公園不凍栓等修繕）	100	43
						委託料（白川・平瀬児童公園芝管理）	1,501	
3	3	1	【村民課】 防災備蓄品整備事業	527	122	防災備蓄品整備を目的に災害備蓄消耗品（乾燥ごはん・味噌汁）購入により防災備蓄の確保に成果があった。	43 ～ 44	
						備品購入費（災害時食糧備品）		122

主要施策

4款 衛生費

- 総務課
- 村民課

4 款 衛生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
4	1	1	【村民課】 歯科保健事業	397	390	歯科に関する健康の保持増進のため歯科 検診を行う。受診者 186 名	44
						報償費 (歯科医師) 105 旅費 (歯科医師費用弁償) 205 需用費 80 (歯科医師昼食費 5) (歯科診断用消耗品 75)	
4	1	1	【村民課】 母子保健事業	396	1,652	母子の健康の保持増進を目的に支援する。 母子手帳交付 18 名 乳幼児健診 75 名	44
						報償費 (栄養士謝礼) 49 旅費 (栄養士費用弁償) 64 需用費 (母子健康手帳 (18 人) 他) 28 委託費 (妊婦健診業務) 1,432 扶助費 (新生児聴覚検査費用) 79	
4	1	1	【村民課】 保健推進員活動事 業	141	152	村民の健康管理を支援する目的で活動を 行う。住民健診の申込書等の配布、回収。	44
						報償費 (保健推進員 22 人) 145 食糧費 (保健推進員会議お茶代) 7	
4	1	1	【村民課】 飛騨地域医療連携 事業	1,509	1,427	地域医療確保を目的に負担金事業実施に より医療サービスに成果があった。救急救命セ ンター・24 時間電話医療相談・病院郡輪番制・ 休日診療所・在宅当番医運営負担金	44
						負担金 1,427 (飛騨地域医療連携事業負担金)	
4	1	2	【村民課】 こころの健康づく り事業	284	207	村民 1 人 1 人が自殺予防のために正しい 行動ができるように、疾患に対する正しい情 報の周知を行う。全世帯へパンフレットの配布。	44 ～
						需用費 207 (メンタルヘルス啓発物品消耗品 (3 件))	45

4 款 衛生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
4	1	2	【村民課】 住民健康診査事業	2,953	2,936	村民の健康管理のために住民健診を行い、 早期発見、早期治療に結びついた。受診者 特 定健診等 468 名 がん検診 1,029 名	44 ～ 45
						旅費 (栄養士に係る費用弁償) 5	
						需用費 158 (住民健診用用紙代他消耗品 59) (検診結果通知用窓空封筒印刷費 99)	
						役務費 (精密検査紹介状送付切手代) 13 委託費 2,690 (住民健康管理システム保守点検 756) (総合健康診査委託費他検診 1,934) 使用料 (健康管理システム用ﾌﾟﾘﾝﾀｰﾘｰｽﾞ代) 70	
4	1	2	【村民課】 筋力トレーニング事業	3,120	3,189	村民の生活習慣病、寝たきり予防のために行う。	44 ～ 45
						旅費 (普通旅費) 78	
						需用費 (筋トレ用具消耗品) 134 委託料 (健康増進事業推進支援コンサル) 1,566	
						使用料 (つくばウェルネスシステム (31 人)) 1,411	
4	1	2	【村民課】 ひまわり会活動 事業	143	262	村内の高齢者にお弁当や、昼食作りを行う。 会員 21 名。弁当配布 4 回 昼食作り 3 回	44 ～ 45
						旅費 (研修参加 (参加者 16 人)) 68	
						需用費 194 (ひまわり会活動用消耗品 2) (栄養教室、高齢者学級材料代他 192)	
4	1	2	【村民課】 がん検診推進事業	472	425	がんの早期発見早期治療に結びつけるため がん検診を行い、対象年齢の方に無料クーポン券 を配布する。受診者 53 名クーポン券 255 枚配布	44 ～ 45
						需用費 272	
						(クーポン券案内用紙 消耗品 1) (クーポン券印刷代 271)	
						委託料 (検診無料クーポン分検診) 153	

4 款 衛生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
4	1	3	【村民課】 斎場火葬業務委託事業	1,135	1,269	火葬炉の適正使用を目的に、斎場火葬業務を委託した。25件 委託料(白川村斎場火葬業務) 1,269	45
4	2	1	【総務課】 ゴミ処理臨時経費	0	3,333	保管していたPCB汚染廃棄物の焼却処理を行った。資源とゴミの分け方心得手帳を転入者へ配布しゴミの分別の周知を図った。 需用費 305 (資源とゴミの分け方心得帳印刷費(200部)) 委託費(低濃度ポリ塩化ビフェニル処理) 2,743 原材料費(終末処理場埋立用覆土) 15 備品購入費(噴霧散布機 1台) 270	45 ～ 46
4	2	1	【総務課】 生ゴミ処理機補助経費	23	42	ごみの減量化を図るため、生ゴミ処理機購入及びコンポスト導入の一部支援を行った。 補助金(コンポスト 1件) 4 補助金(生ゴミ処理機 2件) 40	45 ～ 46
4	2	1	【総務課】 塵芥処理一般経費	24,246	21,019	可燃ごみ、資源ごみの一部を高山市に処理業務を委託している。ごみ運搬業務に係る資源回収車やパッカー車等の整備を行っている。 需用費 1,938 (村指定ゴミ袋、資源車タイヤ他消耗品 881) (パッカー車、資源車燃料代 874) (パッカー車、資源車修理代 183) 役務費 1,094 (村指定ゴミ袋取扱手数料 925) (パッカー車、資源車損害保険料 168) 委託料(高山市可燃・資源処理等) 17,866 使用料(自動車借上げ料他 46) 負担金(敦賀市民間最終処分場) 12 公課費(パッカー車、資源車重量税) 65	45 ～ 46

4 款 衛生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
4	2	3	【総務課】 し尿処理一般経 費	5,500	5,603	汲み取りによるし尿処理を高山市へ委託している。運搬業務に関しては業者に委託し適正に処理を行っている。	47
						委託費（高山市へし尿処理） 5,569 補助金（し尿取扱い収集運搬業務） 34	
4	3	1	【産業振興課】 簡易水道特別会 計繰出金	28,831	45,570	簡易水道会計における公債費に係る費用、及び施設改修に係る費用分を一般会計が負担し簡易水道会計の財政安定化を図る。	47
						繰出金（簡易水道会計繰出金） 45,570 （建設費工事費分 20,753） （公債費分 24,817）	

主要施策

5款 農林水産業費

- 基盤整備課

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
5	1	2	【基盤整備課】 農業総務臨時経費	200	200	白川郷まるごと体験協議会の活動に対する事業費の支援。北方町の小学校の宿泊体験学習受け入れ等の交流活動を行い、グリーン・ツーリズムの充実が図れた。	47 ～ 48
						負担金（まるごと体験協議会活動支援）200	
5	1	3	【基盤整備課】 学校給食地産地消推進事業	454	464	県産の農産物消費拡大と学校給食からの食農教育推進を目的とし、児童・生徒が県産農産物に愛着を持つことによる継続的な消費の拡大が図れた。	48
						負担金（学校給食地産地消推進等） 464	
5	1	3	【基盤整備課】 緊急新産業創出事業	884	978	白川村に新しい特産品を作ることを目的とし、ハウスを活用した生産を行い、白川村の特産品としての認知度が高まった。	48
						補助金 978 (新農林産物試験研究事業2件)	
5	1	3	【基盤整備課】 元気な農業産地構造改革支援事業	4,546	4,150	農業の推進を目的とし、防風ネットや田植機等の導入を行い、作業効率の向上と環境に配慮した農業の推進が図れた。	48
						補助金（1件） 4,150	

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
5	1	3	【基盤整備課】 青年就農者給付金	1,500	3,000	新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を支援することにより、経済的負担を軽減することができた。 補助金（青年就農給付金 1 件） 3,000	48
5	1	3	【基盤整備課】 中山間地域等直接支払事業	7,248	7,385	農業生産条件が不利な地域における生産活動を継続することを目的とし、農業者の農業生産活動等及び農地の多面的機能の増進が図れた。 交付金（中山間地域等直接支払交付金） 7,385	48
5	1	3	【基盤整備課】 中山間地域等直接支払推進事業費	54	52	中山間地域等直接支払事業に必要な事務用消耗品を購入し、円滑な事業の推進が図れた。 需用費（消耗品カーコピー用紙） 52	48
5	1	3	【基盤整備課】 数量調整円滑化市町村推進事業	57	54	需要に応じた米づくりを推進することで、水稻農業経営者の経営安定化を図られた。 旅費（普通旅費） 4 需用費（消耗品 保存用ファイル等） 30 需用費（燃料費 庁用車用燃料代） 20	48

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
5	1	3	【基盤整備課】 元気な野菜館管 理臨時経費	0	35	野菜館の施設（合掌造り）保全ため、修理 を行うことで適正な施設管理が図れた。 需用費（元気な野菜館棟つつみ修理費） 35	48
5	1	3	【基盤整備課】 経営所得安定対 策事業費補助事 業	294	294	平成25年度より飛騨地域農業再生協議会の 事務費を一部負担して活動の支援を図れた。 補助金（飛騨地域農業再生協議会） 294	48
5	1	3	【基盤整備課】 経営体育成支援 事業	0	6,000	畜産技術の継承及び規模拡大を目的とし て、畜産業経営者が建設する畜舎経費を支援 することで、経営安定化が図られた。 補助金（経営体育成支援事業（1件））6,000	48

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
5	1	4	【基盤整備課】 飛騨牛雌牛保留対策事業	0	468	飛騨牛の安定生産のため、県内の優良な種雄牛の遺伝子継承していくことを目的とし、優良な雌牛を導入することで繁殖雌牛の増頭が図られた。	48
						補助金 468 (飛騨牛雌牛保留対策事業 (1 件))	
5	1	4	【基盤整備課】 新飛騨牛食肉センター建設事業負担金	1,096	1,096	高山市内に既設する J A 飛騨ミートの施設建設費の一部を、白川村が負担している。	48
						負担金 1,096 (新飛騨牛食肉センター建設事業負担金) ※平成 14 年から平成 33 年まで債務負担	
5	1	6	【基盤整備課】 農地費臨時経費	6,838	3,625	農業用排水路や農道等の破損等による修繕を行うことを目的として、鳩谷飯島地区用排水路改修等を実施した。	48 ～ 49
						需用費 3,625 (修繕費農道舗装等 (8 件) 3,061) (修繕費用水取水口 (2 件) 564)	
5	1	6	【基盤整備課】 環境保全向上対策事業	1,892	2,268	地域の農地や農業用施設などの資源を維持することを目的に、地域ぐるみで農地や水を守る共同活動に対し支援を行った。	48 ～ 49
						交付金 (多面的機能支払交付金) 2,268 (岐阜県農地・水・環境保全推進協議会)	

5款 農林水産業費

(単位 千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
5	1	6	【基盤整備課】 中山間地域総合 整備事業	13,691	13,350	県営中山間地域総合整備事業に関する負担 金(負担率 15%)、大郷用水路水管橋下部工等の 工事を実施。	48 ～ 49
						負担金 13,350 (県営中山間総合整備事業(岐阜県))	
5	1	6	【基盤整備課】 農地費臨時経費 ※前年度繰越	0	1,304	上町水管橋に漏水が発生したことにより、 早急な対応が必要となったため緊急補修を行 った。	48 ～ 49
						工事請負費(上町水管橋緊急補修) 1,304	
5	2	1	【基盤整備課】 環境保全監視員 報酬	300	300	自然環境の保全を目的として、6名の環境保 全監視員により指定箇所外でのキャンプやギョ ウ等捕獲等について監視を行った。	49
						報酬費(環境保全監視員(6人)) 300	
5	2	1	【基盤整備課】 有害鳥獣捕獲事 業	2,562	5,561	農林水産業・生活環境・人身等に被害の恐 れがあるため、野生鳥獣を捕獲した。 イシ 142、シ 82、サル 3、クマ 18頭の捕獲等	49
						報償費(個人4名、猟友会1団体) 5,390 需用費(消耗品 捕獲用網他) 31 補助金(猟友会白川支部) 140	

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書	
款	項	目		25年度	26年度			
5	2	2	【基盤整備課】 花街道花いっぱい運動推進事業	7,277	4,132	美しい環境を整備して来村者をもてなすため、花を植えて美化に努める地域・団体に対して花苗等を配布。国道沿いの山野草を植栽した箇所について除草を行った。	49	
						<table border="0"> <tr> <td>需用費(花壇用肥料等消耗品)</td> <td>334</td> </tr> <tr> <td>役務費(廃試薬処分手数料)</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>委託費(沿道修景整備事業)</td> <td>2,541</td> </tr> <tr> <td>業務委託料(花苗育苗業務)</td> <td>757</td> </tr> </table>		需用費(花壇用肥料等消耗品)
需用費(花壇用肥料等消耗品)	334							
役務費(廃試薬処分手数料)	500							
委託費(沿道修景整備事業)	2,541							
業務委託料(花苗育苗業務)	757							
5	2	2	【基盤整備課】 森林整備地域活動支援事業	1,677	711	森林保全を目的とした間伐の促進のため、森林組合が実施する森林経営計画作成業務に対して補助を行った。 飯島地内について計画を作成。	49	
						<table border="0"> <tr> <td>交付金(森林整備地域活動支援事業)</td> <td>711</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(飛騨高山森林組合)</td> </tr> </table>		交付金(森林整備地域活動支援事業)
交付金(森林整備地域活動支援事業)	711							
(飛騨高山森林組合)								
5	2	2	【基盤整備課】 清流の国ぎふ森林・環境基金事業	5,644	1,140	災害等を未然に防ぐことを目的として、枯れ被害木の伐倒、危険木の除去、野生鳥獣の緩衝帯整備等を実施。	49	
						<table border="0"> <tr> <td>需用費(村指定ゴミ袋消耗品140枚)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>需用費(啓発チラシ10,000枚印刷製本費)</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>委託料(特定外来植物駆除)</td> <td>1,080</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(飛騨高山森林組合)</td> </tr> </table> <p>※委託料18,059千円を翌年度繰越とした。</p>		需用費(村指定ゴミ袋消耗品140枚)
需用費(村指定ゴミ袋消耗品140枚)	8							
需用費(啓発チラシ10,000枚印刷製本費)	52							
委託料(特定外来植物駆除)	1,080							
(飛騨高山森林組合)								
5	2	3	【基盤整備課】 水源林造成事業	3,201	1,810	水源林のかん養機能を高めることを目的として、公団造林について保育(除伐I類)を実施。	49	
						<table border="0"> <tr> <td>工事請負費</td> <td>1,810</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(水源林造成事業(有家ヶ原字池ノ谷))</td> </tr> </table>	工事請負費	1,810
工事請負費	1,810							
(水源林造成事業(有家ヶ原字池ノ谷))								

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
5	2	4	【基盤整備課】 林道費臨時経費	2,766	3,632	各林道の安全性向上を目的として、路面修繕・草刈り等を行った。牛首林道排水路の歌集工事を行った。	50
						修繕費 2,401 (地獄谷林道補修 64) (大沼林道修繕 1,296) (寺尾林道 40) (飯島林道草刈 499) (牛首林道路面修 205) (牛首林道修繕 108) (大幹線・横道修繕 189) 工事請負費 (牛首林道排水溝) 1,231	
5	2	4	【基盤整備課】 横道林道法面修繕 工事	0	5,702	横道林道法面の一部崩壊が発生したため、箇所への客土吹付工事を行った。	50
						工事請負費 (横道林道法面) 5,702	
5	2	6	【基盤整備課】 地籍調査事業	2,046	2,227	地籍の明確化を図ることを目的として、大字飯島地内(字中山他)の土地について法務局等資料調査・収集を実施した。	51
						旅費 5 需用費 (消耗品 熊スプレー、目印テープ) 20 役務費 (地籍車自動車損害保険料) 36 測量等業務委託費 (飯島字中山他) 1,728 調査用パソコン・自動車リース代 438	

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
5	2	5	【基盤整備課】 白山林道管理一 般経費	0	77,991	<p>白山スーパー林道の運営管理に関する経費。通常の管理に加え、名称変更に伴う看板補修等を行った。</p> <p>-----</p> <p>共済費 287 賃金 5,650 報償費 28 旅費 97 需用費 2,659 (消耗品 607) (燃料費 1,187) (食糧費 45) (修繕費 819) 役務費 222 (手数料 192) (損害保険料 30) 委託料 49,798 使用料 399 工事請負費 18,361 原材料費 108 備品購入費 299 負担金 83</p> <p>※白川郷展望台多目的トイレ新築事業に係る工事費 4,804 千円及び白山林道岐阜県管理事務所駐車場舗装工事 5,228 千円を翌年度繰越とする。</p>	50 ～ 51

主要施
策

6款 商工費

- 總務課
- 觀光振興課

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書		
款	項	目		25年度	26年度				
6	1	2	【観光振興課】 商工会補助事業	3,000	3,000	円滑な商工会活動と村の商工業の振興発展に寄与することを目的として、白川村商工会への運営補助金を交付する。	51 ～ 52		
						補助金(白川村商工会)		3,000	
6	1	2	【観光振興課】 企業誘致政策関連経費	6,287	4,723	国等機関とのパイプづくり、企業誘致支援等の強化を図ることを目的に行った。26年度は民間賃貸住宅の誘致を行い2名の雇用と約20名の定住につながった。	51 ～ 52		
						旅費(費用弁償713 普通372)		1,085	需用費(食糧費)
6	1	2	【観光振興課】 地域商品券事業	3,623	4,137	村内消費拡大を目的として、プレミアム地域商品券を販売し購買意欲の向上と地元商工業の活性化に寄与する。	38 ～ 39		
						補助金(地域商品券事業) (白川村地域商品券実行委員会)		4,137	
6	1	2	【観光振興課】 地域経済循環創造事業	0	25,000	地場産品創出を目的として、総務省地域経済循環型創造交付金を活用し(有)レイク・ルイズが野菜等乾燥機械購入設置を申請し導入。	51 ～ 52		
						交付金(地場産品製造業者1件)		25,000	

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
6	1	2	【観光振興課】 消費喚起・生活 支援プレミアム商品 券事業	0	5,800	国の H26 補正予算により全額繰越し 27 年 度に実施 H27.8.3 から販売開始する。	51 ～ 52
						補助金 (白川村地域商品券実行委員会) 5,800 ※補助金 5,800 千円を翌年度繰越とする。	
6	1	3	【観光振興課】 誘客宣伝事業	2,809	5,800	観光誘客を図るための魅力発信を行う。	52 ～ 53
						報償費 (ノベルティ他) 941 旅費 1,275 (費用弁償 130 普通 859 特別 286) 需用費 840 (マラソン等への提供物品食糧費 338) (アームバック作成 10,000 部印刷 502) 役務費 (刃物祭り道路使用手数料) 3 委託料 2,651 (交通誘導案内看板等作製 324) (20 周年企画業務 2,327) 使用料 90 (村内有料施設優待券購入 86) (ウルトラマラソン時の発電機 4)	
6	1	3	【観光振興課】 公衆便所管理事 業	9,666	8,649	公衆便所を清潔に保つことを目的として、 維持管理を行う。	52 ～ 53
						需用費 4,419 (トレットペーパー等消耗 651) (水道等光熱水費 2,824) (電気設備等修繕費 944) 役務費 (浄化槽法定検査費) 7 委託費 (トイレ清掃業務等管理費) 2,554 使用料 (防臭剤・祭礼時仮設トイレ) 1,614 原材料費 (神社・旧駐車場 2 件) 55	

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
6	1	3	【観光振興課】 白山国立公園管 理事業	1,307	4,622	白山国立公園内の保全と誘客を目的とし て、大白川園地内草刈り、関係施設点検、ゴミ 処理等を行う。	
						役務費 150 (衛生電話通信料 134) (大白川野営場損害保険料 16) 委託費 3,492 (野営場指定管理委託料 1,000) (公園内草刈、ゴミ処理等業務 2,492) 使用料 (野営場敷土地借上料) 98 負担金 (白山ユネスコパーク協議会負担金) 882	52 ～ 53
6	1	3	【観光振興課】 おもてなし国際 化補助金	500	376	海外からの来訪者に対し言葉の障害を軽減 させるために、インターネットを活用した音声ガイド を実施する	52 ～ 53
						補助金 (助成事業 (6 件)) 376	
6	1	3	【観光振興課】 踊り街道フェスティ バル開催費	16,980	5,000	村内の伝統芸能を継承することを目的とし て、文化庁からの補助金を活用してイベントを開 催した。これらの経費は、事業実施翌年に補 助金が交付されるため、次年度精算として補 助金を交付としている。	52 ～ 53
						補助金 5,000 (白川村文化遺産活用観光マネジメント実行委員 会 1 件)	
6	1	3	【観光振興課】 大白川園地施設 整備事業	863	297	南部地区活性化を目的として、白水の滝周 辺環境整備、白水湖畔駐車場舗装・散策路整 備改修工事を実施し環境整備を行った。	52 ～ 53
						委託料 (観瀑台改修工事設計) 297 工事請負費 0 (観瀑台改修工、駐車場舗装工事費) ※工事費 17,991 千円を翌年度繰越とする。	

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
6	1	3	【観光振興課】 駐車場等交通整 理事業	9,844	17,332	村民や観光客来訪者等の安全を確保することを目的として、荻町地内観光車両進入抑制を実施するため警備員を委託するなど対応を図った。	52
						委託費 17,332 (荻町交差点駐車場誘導看板政策 214) (交通誘導、駐車場管理業務委託費 17,118)	53
6	1	3	【観光振興課】 観光協会補助事 業	9,277	9,627	観光等による来訪者に対する案内業務を充実させるため、観光協会の運営経費の一部を補助し負担軽減を図った。	52
						委託費 (おもてなし講習会開催) 627 補助費 (観光協会事業補助金) 9,000	53
6	1	3	【観光振興課】 南部地区活性化 支援事業	5,172	5,436	南部地位の活性化支援を目的として、大白川園地を活用したウォーキング委託や、南部地域名物料理研究費を行い活性化に寄与した。	52
						委託費 (大白川ウォーキング事業開催) 1,080 交付金 (南部地区名物料理開発事業) 4,356	53
6	1	3	【観光振興課】 地区外合掌家屋 保存事業	6,864	4,847	荻町伝建地区以外の合掌造り家屋の保存を目的として、修理等に係る経費の一部を補助金交付し、維持管理に寄与した。	52
						補助金 (合掌家屋屋根修理 (3 件)) 4,847	53

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
6	1	3	【観光振興課】 荻町公園整備事業	4,164	497	旧荻町駐車場の公園化事業（芝生・植栽・融雪装置・舗装等を行い、人が休める・集える公園となるよう整備を進める。	52 ～ 53
						委託費（荻町公園整備設計） 467 工事請負費（荻町公園整備工事） 0 ※工事費 30,500 千円を翌年度繰越とする。	
6	1	3	【観光振興課】 飛騨地域観光協議会負担金事業	0	1,284	北陸新幹線開業を見据え、飛騨 3 市 1 村で組織する協議会にて更なる誘客促進を図るための事業負担金。	52 ～ 53
						負担金 1,284 (飛騨地域観光協議会)	
6	1	3	【観光振興課】 観光パンフレット等 作製事業	4,660	4,680	村への観光誘客のため、パンフレット等（多言語化含む）の制作及び発送を行うことで、村の魅力を周知することができた。	52 ～ 53
						需用費 4,249 (合掌造り集落パンフ他 14 種印刷費) 役務費（観光パンフレット等送料） 431	
6	1	3	【観光振興課】 荻町合掌集落窓 明り点検業務委 託料	450	450	夕暮れ以降の観光サービスとして合掌家屋の窓明かり点灯を実施しており、電灯等の維持管理に係る業務費用を負担している。 点検経費。(年 1 回 5 1 棟)	52 ～ 53
						委託料（窓明り点検業務） 450	

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
6	1	3	【観光振興課】 弥陀島公園管理 事業	524	2,619	みだしま公園内芝生及び臨時駐車場・トイレ等の管理を目的として、公園管理等に係る業務委託を行った。	52 ～ 53
						需用費 (弥陀島公園整備 (5 件)) 1,919 委託費 (弥陀島公園芝生管理業務) 700	
6	1	3	【観光振興課】 さくら街道誘客 推進事業	600	565	交通量が激減した国道 156 号への誘客・周遊を図るため、高山市 (荘川町) と連携したイベント事業を開催した。	52 ～ 53
						報償費 (さくら街道スタンプラリー景品等) 300 需用費 250 (段ボール等消耗品 2) (さくら街道スタンプラリー台紙印刷費 248) 役務費 (さくら街道スタンプラリー景品送料) 15	
6	1	3	【観光振興課】 ロングトレイル事業	0	2,323	自然観光資源を活用した新しい観光の確立のため、ロングトレイルのルート整備・受入体制確立・人材育成を行う。	52 ～ 53
						旅費 (白川フォーラム費用弁償 (9 名)) 400 需用費 (白川フォーラム交流会食糧費 (30 名) 120) (トレイルクラブパンフレット印刷費 (3 千部) 297) 委託料 (トレイル調査業務委託事業) 1,620 (NPO 白川郷共生フォーラム)	
6	1	3	【観光振興課】 大白川園地施設 整備事業 ※前年度繰越	0	25,235	南部地区の活性化を目的として、環境整備を行った。【白水の滝周辺環境整備、白水湖畔駐車場舗装・散策路整備改修工事】	52 ～ 53
						委託料 407 (南側公衆トイレ水洗化工事設計費) 工事請負費 24,828 (第二キャンプサイト架台設置 9,976) (南側公衆トイレ改修 14,852)	

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
6	1	3	【総務課】 消費者生活相談 員等レベルアップ 事 業	7	7	生活相談員が配置されていないため職員により研修会に参加し、情報収集及び職員のレベルアップを図ることが出来た。	52 ～ 53
						旅費（普通旅費 4 名）	
6	1	3	【観光振興課】 せせらぎ公園管 理事業	81,171	88,158	来訪者の駐車場の維持管理を目的して、せせらぎ公園駐車場・であいの館及び弥陀島・寺尾臨時駐車場の運営・管理を委託した。	52 ～ 53
						修繕費（舗装等 4 件） 953 委託料 74,132 （管理業務 保存財団 71,500） （駐車場看板他 1 件 342） （芝生管理業務 2,290） 使用料 3,638 （土地借上料（焰仁美術館） 203） （駐車場料金徴収機器 3,435） 負担金（電気保安管理 民家園） 1,457 積立金（小呂駐車場整備基金） 7,978	

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
6	1	3	【基盤整備課】 小水力発電施設管理経費	24,928	34,279	小水力発電施設の維持管理に努めた。ランゲ羽根の動作不良に伴う修繕を行った。予備のランゲ羽根 (5 枚) を製作した。	52 ～ 53
			賃金 (小水力保安監督業務 1 名) 231 需用費 2,867 (作業用消耗品等 4) (電気代 465) (羽動作確認修繕費 2,398) 役務費 (遠隔監視通信料) 45 委託料 6,137 (保守点検委託料 869) (施設管理委託料 5,184) (発電所デマンド監視業務 84) 使用料 22 (配線関係土地 11) (平瀬発電所施設) 11) 工事費 11,707 (配電撤去工事 2,203) (ランゲ羽製作工事 5 枚 9,504) 積立金 (小水力基金) 13,270				
6	1	3	【観光振興課】 しらみずの湯施設管理経費	2,956	7,010	指定管理者である、大白川温泉観光(株)が、小水力発電施設の発電電力の余剰電力売電分を電気用に充てていたが、全量売電に変更したことにより、電気代を支払うことが困難となった為に、村が、施設の電気料を支払うこととなった。	52 ～ 53
			需用費 (電気代) 6,795 委託料 (保守点検中部電気保安協会) 215				

主要施策

7款 土木費

- 基盤整備課

7 款 土木費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
7	1	1	【基盤整備課】 先導的官民連携 支援事業	6,300	8,690	広域災害時において正しい情報を伝えるために道の駅や情報媒体の活用を図るため、業者へ委託し調査を行った。 委託費（災害時避難誘導調査業務） 8,690	53 ～ 54
7	1	1	【基盤整備課】 残土処理場管理 事業	0	2,490	26 年 3 月に条例制定を行い、木谷及び馬狩谷残土処理場において、使用料を徴収し、適正管理を行った。 需用費（処理場進入路修繕） 2,240 委託料（木谷残土処理場管理委託） 250	53 ～ 54
7	1	2	【基盤整備課】 道の駅 EV 充電 器整備事業	0	0	電気自動車の普及に伴い、道の駅白川郷に電気自動車用急速充電器 1 基を設置するもの。 工事費（道の駅白川郷急速充電器整備） 0 ※工事費 6,821 千円を翌年度繰越とする。	54
7	2	2	【基盤整備課】 除雪関係事業	88,600	189,352	冬期の生活路線を確保するため、機械除雪や消融雪に使用した除雪関係費用。当季は豪雪により事業費が増大した。 需用費 13,073 （チェーン、ポール等消耗品 1,696） （除雪車燃料費 5,468） （融雪・消雪等光熱水費 3,175） （除雪車附带設備修繕 2,734） 役務費 1,567 （戸島融雪装置通信費 19） （除雪車整備点検手数料 1,436） （除雪車損害保険料等 112） 委託料 174,683 （冬季であい橋管理 360） （除雪等業務委託料 174,323） 使用料 11 （平瀬融雪施設土地借上 5） （消雪施設遠方監視配信システム 6） 備品購入費（消火栓 2 本） 18	54 ～ 55

7 款 土木費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
7	2	2	【基盤整備課】 村道補修工事	34,283	30,021	道路の安全性と迅速な対応を図るため、道路修繕の委託業務形態を変更したことにより、地域要望などに迅速に対応ができた。	54 ～ 44
						委託費 (道路維持修繕業務) 21,254	
7	2	2	【基盤整備課】 社会資本整備総合 交付金事業 (道路 維持)	82,574	114,257	橋梁、トンネル、擁壁や法面等の土木構造物を点検することにより、安全で快適な通行を確保する。また、点検結果に基づき橋梁、トンネルの補修を行った。	54 ～ 55
						委託料 5,679 (法面・土工構造物 2,971) (橋梁点検 2,708)	
7	2	2	【基盤整備課】 社会資本整備総合 交付金事業 (道路維持) ※前年度繰越事業	50,000	141,294	橋梁点検の結果に基づき橋梁の劣化部分を補修し、安全で快適な交通を確保した。	54 ～ 55
						工事請負費 141,294 (有家ヶ原橋改修工事 58,497) (馬狩隧道補修工事 31,155) (長瀬橋補修事業 51,642)	

7 款 土木費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
7	2	3	【基盤整備課】 県単改良事業	18,727	4,346	<p>村内の国道など、県が所管する道路等の県単改良事業に対して負担金を支出する。牧地区の登坂車線整備にが主なものとなる。</p> <p>負担金 (高山土木事務所) 4,346 (R156 牧地区登坂車線工事及び保木脇地内水路改修)</p>	55
7	2	3	【基盤整備課】 社会資本整備総合交付金事業 (新設改良)	23,134	41,040	<p>道路法面の保護や落石対策を実施し安全な交通を確保した。また、舗装補修及び狭小路線の待避所を設置することにより快適な交通を確保した。</p> <p>委託料 2,456 (荻町鳩谷舗装改修設計監理 2,456) 工事請負費 38,584 (木谷稗田線落石対策工事 2,366) (下ゴリ線退避所設置工事 28,250) (鳩谷寺尾線落石対策工事 7,968) ※木谷稗田線工事 38,500 千円及び、下ゴリ線工事 17,992 千円を翌年度繰越とする。</p>	55
7	2	3	【基盤整備課】 社会資本整備総合交付金事業 (新設改良) ※前年度繰越事業	63,998	66,000	<p>道路法面の保護や落石対策を実施し安全な交通を確保した。</p> <p>工事請負費 66,000 (木谷稗田線落石対策工事 59,407) (鳩谷寺尾線落石対策工事 6,593)</p>	55
7	2	3	【基盤整備課】 河川除草堤防経費	391	667	<p>河川の良好な景観・環境を保全することを目的として、の平瀬、飯島地内の河川の堤防除草を実施した。</p> <p>委託費 (河川堤防除草 平瀬・飯島他) 667</p>	55

7 款 土木費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
7	3	1	【基盤整備課】 普通河川臨時経 費	4,814	3,299	村民の安心安全を目的として、村内の普通河川のうち 3 河川の修繕工事を行った。	55
						需用費 3,299 (鳩谷地内河川修繕 529) (馬狩谷川河川修繕 756) (荻町西側法面修繕 2,014)	

主要施策

8款 消防費

- 総務課

8 款 消防費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
8	1	1	【総務課】 消防救急デジタル 無線整備事業	0	24,668	消防救急のデジタル化に伴い整備を行い、確 実かつ効率的な消防・救急活動の支援が図れ た。	56
						工事請負費(戸ヶ野局造成工事) 4,744 負担金(高山市) 19,924 ※負担金 108,983 千円を翌年度繰越とする。	
8	1	2	【総務課】 防火クラブ補助事 業	180	293	家庭や地域での火災予防の意識啓発や初期 消火に関する知識の普及を目的に、研修会等 を開催し、防火防災意識の向上が図れた。	56
						補助金(女性防火クラブ事業) 293	~ 57
8	1	2	【総務課】 村内消防団補助 経費	648	830	消防団活動に必要な経費を支援し、年末夜 警や出初式を行い、防災意識向上が図れた。	56 ~ 57
						補助金(白川村消防団) 670 交付金(白川村消防団) 160	
8	1	2	【総務課】 消防団員報酬	3,016	2,946	消防団の活動に伴う出動手当で、述べ 2,791 人が出動して防災活動等を行い、安全で住み よい村づくりを行った。	56 ~ 57
						報酬費(2,791人) 2,946	

8 款 消防費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
8	1	2	【総務課】 地域防災計画見直し事業	530	940	災害対策基本法の改正に伴うための見直しで、関連する内容を整備し、有事の際の対策が図られた。	56
						委託料(地域防災計画改定業務) 940	57
8	1	2	【総務課】 県消防操法大会経費	33,322	18,041	県消防操法大会開催にあたり臨時職員の雇用並びに、実行委員会に対する開催経費を支援することにより消防技術向上を図った。	
						共済費(社会保険料・労働保険料) 147	56
						賃金(1名) 1,588	～
						旅費(費用弁償) 160	57
						需用費(食糧費) 6	
						使用料(高速料金) 140	
						交付金(操法大会実行委員会) 16,000	
8	1	2	【総務課】 大野郡消防協会事業	437	481	飛騨3市1村で飛騨地区消防連絡協議会を組織し、飛騨地区消防協会との連携を図った。	56
						旅費 26	～
						(費用弁償) 11	57
						(普通旅費) 15	
						負担金(岐阜県消防協会他16件) 455	
8	1	3	【総務課】 消防施設管理経費	4,720	7,373	消防団の活動に必要な小型ポンプや消防車両等の整備を行い、操法大会での技術向上や、有事に備えることができた。	
						需用費 4,703	
						(消防用ポンプ等消耗品) 349	
						(消防車両用燃料費) 181	
						(ポンプ庫等消防施設光熱水費) 1,423	57
						(防火水槽、ポンプ等修繕費) 2,750	～
						役務費 826	58
						(消防車両車検6件) 434	
						(消防車両損害保険料) 392	
						委託料(防災無線保守点検委託) 539	
						使用料(椿原・小白川ポンプ庫、コンテナ) 117	
備品購入費(水槽・トランシーバー) 1,042							
公課費(自動車重量税6件) 146							

8 款 消防費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
8	1	3	【総務課】 消防資機材更新 経費	0	92	村内の消火栓等の整備を行うための経費 で、戸ヶ野地区の消火栓格納箱を整備し、地 域の防火活動に貢献した。	57 ～ 58
						備品購入費 (戸ヶ野消火栓格納箱) 92	
8	1	3	【総務課】 小型動力ポンプ 付軽積載車購入 事業	4,963	10,291	消防団の活動に必要な車両で、更新計画に 伴い整備を行った。地域での消防活動の向上 に貢献した。	57 ～ 58
						役務費 169 (車両登録諸費 2 台 151) (自動車損害保険料 2 台 18) 備品購入費 (消防系車両 2 台) 10,109 公課費 (自動車重量税 2 台) 13	
8	1	3	【総務課】 防災グラウンド照 明改修工事	0	3,710	消防操法大会練習会場として安全性の向上 並びに、災害時の利便性の高い避難番所とし ての活用を目的に、照明設備を更新すること で施設の充実が図れた。	57 ～ 58
						工事請負費 3,710 (寺尾防災グラウンド照明改修)	

主要施策

9款 教育費

- 総務課
- 教育委員会

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書	
款	項	目		25 年度	26 年度			
9	1	2	【教育委員会】 学校等保健安全 委員会交付金事 業	1,034	580	児童生徒及び教員の健康保持を目的に健診 や環境調査を実施し、病気の早期発見の機会 を得る成果があった。		
						賃金 (スクールカウンセラー 1 名)	150	58
						旅費 (スクールカウンセラー費用弁償)	21	～
						委託料	297	60
			(オゾンメーター検査料	21)				
			(職員健康診断他	276)				
			負担金 (人間ドック補助事業負担金)	112				
9	1	2	【教育委員会】 事務局臨時経費	14,022	1,757	小中学校の活動及び環境向上を目的に琴臣 プロジェクトや部活動大会引率等を実施し、礼儀 作法や全中柔道大会参加等の成果があった。		
						報償費 (琴臣プロジェクト講師謝礼)	360	
						旅費 (全国大会等引率,講師費用弁償)	1,010	58
						需用費	178	～
						(事務用品	41)	60
						(講師宿泊費等	137)	
						役務費 (電化製品処分手数料)	5	
						委託料 (音楽会横断幕作製委託費)	43	
使用料 (教員用温泉入浴券)	161							
9	1	2	【教育委員会】 児童生徒輸送経 費	10,172	15,688	南部および馬狩地区の児童生徒の通学を目的に 両地区スクールバス等の運行を実施し、安全に 登下校送迎した成果があった。		
						需用費	2,194	
						(スタッフレスタイヤ等車両消耗品	446)	
						(車両燃料代	1,579)	58
						(スクールバス車庫電気代	23)	～
						(車両修繕費	146)	60
						役務費	1,005	
						(車検手数料他	791)	
						(車両自賠責・任意保険料	214)	
						委託料 (運行業務 PKP 事業)	12,391	
公課費 (車両重量税 4 台)	98							

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
9	1	2	【教育委員会】 子育て教育推進 事業	4,375	4,146	第 3 子以降及びひとり親世帯の子育てに係る負担軽減を目的に給食費の免除に伴う補助及び高校通学に要する費用の交付を実施し、子育て世帯を応援する成果があった。	58 ～ 60
						扶助費 (第 3 子以降児童及び母子・父子家庭 児童生徒給食費免除 37 名) 1,986 (高等学校通学費等助成 17 名) 2,160	
9	1	2	【教育委員会】 歯 医 師・薬 剤 師 報 酬	224	224	児童生徒の健康保持を目的に学校歯科医・薬剤師の派遣を実施し、口腔、環境衛生の向上する成果があった。	58 ～ 60
						報酬 224 (歯科医師 1 人 120) (薬剤師 1 人 104)	
9	1	2	【教育委員会】 ふれあい塾事業	180	180	教育力の向上、子どもたちの総合力の涵養、自然環境教育を目的に小学生対象で「里山遊び塾」を計 8 回開催した経費。のべ 145 名の参加者できた。	58 ～ 60
						補助金 (事業補助金) 180	
9	1	2	【教育委員会】 白川村教育会事 業	550	408	教職員の研鑽を目的に講演会や研修を企画・実施し、資質向上の成果があった。	58 ～ 60
						補助金 (事業補助金) 550	

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
9	1	2	【教育委員会】 中学校体育館耐震等改修事業	0	84,648	中学校体育館の耐震性及び周辺設備整備を目的に白中体育館改修を実施したことにより学習環境の向上に成果があった。	58 ～ 60
						委託料（設計監理費）	
9	1	2	【教育委員会】 学校施設整備事業	2,848	50,283	プール及び更衣室棟の整備を目的に、小学校プール改築を実施したことにより学習環境の向上に成果があった。	58 ～ 60
						委託料（設計監理費）	
9	1	2	【教育委員会】 コミュニティスクール推進事業	0	356	学校が地域ぐるみで子どもたちを育てる目的でコミュニティスクールを進めている。文科省認定マイスターによる先進事例の講演並びにリーフレットを作成し理解を広めた。	58 ～ 60
						報償費（CS 講演会 1 名）	
						(ファイル等事務用品消耗品 39)	
						(リーフレット等印刷費 270)	
9	1	3	【教育委員会】 奨学資金給付金	200	48	今年度は、給付該当がなかったため、基金利息を積立てた。	60
						基金積立金（奨学資金給付基金）	

9款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
9	1	3	【教育委員会】 小坂育英資金交付金	300	87	今年度は、給付該当がなかったため、基金利息を積立てた。	60
						基金積立金(小坂育英資金)	
9	2	1	【教育委員会】 白川小学校管理 臨時経費	379	2,424	小学校の学習環境整備を目的に、3年計画の1年目軽量木製机・椅子備品購入を実施したことにより学習環境の向上が図られた。	60
						備品購入費 (児童用机・椅子40脚、ベルトディスクカッター他)	
9	2	1	【教育委員会】 修学旅行交付金 事業	422	500	児童が歴史や社会学習を深めることを目的に京都・奈良へ修学旅行を実施し、体験・情報発信する成果があった。	60
						交付金(小学校修学旅行交付金)	
9	2	2	【教育委員会】 要保護・準要保護 児童就学奨励 事業	197	253	児童の就学を目的に援助を実施し、経済的困難な家庭の支援した成果があった。	61
						扶助費(就学援助費 4名)	
9	2	2	【教育委員会】 特別支援教育就 学奨励事業	67	64	特別支援学級に在籍する児童の就学を目的に援助を実施し、在籍家庭を支援した成果があった。	61
						扶助費(奨励給付金 2名)	

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
9	3	1	【教育委員会】 白川中学校管理 臨時経費	1,456	2,489	中学校の学習環境整備を目的に教室の照明器具修繕や教育用資材等備品購入を実施し、学習効果の向上成果があった。	61
						需用費（照明器具修繕費） 583 備品購入費（書籍、食器保管庫他） 1,906	
9	3	1	【総務課】 研修交付金事業	86	83	中 2 生徒のキャリア学習を目的に高山市内での職場体験を実施し、将来設計の実体験として成果があった。	61
						交付金（高山市研修） 94	
9	3	1	【総務課】 自然教室事業交付金	132	90	中 1 生徒の自然環境学習を目的にトヨタ自然学校での体験を実施し、身近すぎて気づきにくい村の自然を体験する成果があった。	61
						交付金（自然教室事業交付金） 90	
9	3	1	【総務課】 進学就職指導交付金事業	64	92	中学生の進路支援を目的に志望校へ書類連絡や引率等指導を実施し、中学生の進路決定が円滑に進められた。	61
						交付金（進学就職指導交付金） 92	

9 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
9	3	1	【教育委員会】 教員住宅管理経 費	2,372	2,434	教職員寮の設備整備を目的に調理員の設置、車庫・給湯器の修繕等を実施し、教員の生活・食事環境が向上する成果があった。	61
						共済費（社会保険料 1 名） 217 賃金（調理員 1 名） 1,148 通勤費（調理員 1 名） 72 需用費 984 （台所用品等消耗品 29） （教員車庫、給湯器等修繕 955） 役務費（消火器点検等手数料） 13	
9	3	2	【教育委員会】 要保護・準要保 護生徒就学援助 費	378	274	生徒の就学を目的に援助を実施し、経済的困難な家庭の支援した成果があった。	61
						扶助費（就学援助費 3 名） 274	
9	3	2	【教育委員会】 中学生海外研修 補助事業	5,177	6,285	生徒の英語・郷土学習を深めることを目的にオーストラリア海外研修を実施し、ホームステイ体験や小学校交流、プレゼン発表などコミュニケーションをとることで、英語への興味を高めることができた。	61
						補助金（中学生海外研修 2/3 補助） 6,285	
9	3	2	【教育委員会】 中学校部活動支 援事業	223	226	中学生部活の支援を目的に県大会以上の大会出場に係る旅費支給を実施することにより、活発な部活動が行われた成果があった。	61
						補助金（部活動支援事業） 226	

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
9	4	1	【教育委員会】 社会教育総務臨時経費	278	374	社会教育団体等による、社会教育推進大会、乳幼児学級・高齢者学級の開催に伴う経費を支援した。円滑な事業遂行ができた。	62
						報償費（乳幼児学級講師謝 礼 8 名） 95 旅費（費用弁償 8 件） 44 需用費 115 （事務用品等消耗品 102） （社会教育推進大会弁当代他 13） 使用料（高齢者学級施設使用料） 60 交付金（家庭教育学級運営委員会） 60	
9	4	1	【教育委員会】 ALT 招致事業	4,660	3,163	児童生徒の英語学習推進を目的に計画及び補助教員として授業に関わり、保育園訪問を実施し、発音や生活文化を学習する成果があった。	62
						報償費（外国語指導助手 1 名） 2,694 共済費（社会保険料） 361 旅費（費用弁償 4 件） 11 負担金（JET） 97	
9	4	1	【教育委員会】 PTA 連合会補助経費	0	80	白川小学校・中学校各 PTA 活動に対して補助を行なった。これにより PTA 研修会を開催し家庭での生活習慣の見直しをテーマに東海大小澤治雄先生を招き講演会を開催した。	62
						補助金 80 （白川小学校 PTA 40） （白川中学校 PTA 40）	
9	4	1	【教育委員会】 放課後子ども教室推進事業	221	221	安全安心な放課後活動の確立や地域の教育力の向上、子どもたちの総合力（人間力）の涵養、自然環境教育を目的として、NPO 法人トヨタ自然共生フォーラムの委託のもと、小学生を対象に「里山遊び塾」を 8 月～3 月で合計 8 回開催し、参加者延べ人数 145 名であった。	62
						委託料（子ども教室 自然学校） 221	

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
9	4	1	【教育委員会】 社会教育推進事業補助金	448	336	生涯学習講座受講の推進を目的とし、総合文化交流施設において講座を展開する高山中日文化センターへ受講料の一部を負担した。 負担金（生涯学習講座開設負担金） 366 (受講人数約 20 名×12 ヶ月)	62
9	4	2	【教育委員会】 公民館臨時経費	890	896	公民館運営連絡協議会活動支援を目的として、各校区公民館運営委員会及び各地区公民館運営委員へ連絡協議会を通じて補助金を交付した。 補助金（公民館運営連絡協議会） 896	62
9	4	2	【教育委員会】 総合文化交流施設管理運営事業	3,060	2,297	総合文化交流施設の管理を目的とし、隣接する道の駅白川郷を管理する飯島観光開発(株)へ管理委託をしながら年中を通して円滑な管理・運営を行なった。 需用費 1,284 (ポードマカ等消耗品 1) (暖房用燃料代 229) (施設光熱水費 1,022) (火災報知器等修繕費 32) 役務費（電話料金） 61 委託料 927 (セキュリティ 290) (電気保安管理 137) (管理業務 500) 使用料（NHK 放送受信料） 25	62
9	4	2	【教育委員会】 コミュニティ助成事業	1,700	4,700	コミュニティ助成金の交付を受け、どぶろく瓶詰機や民謡衣裳等購入費用に対して助成金を交付した。 交付金 4,700 (どぶろく祭り保存会 2,400) (飯島区 2,300)	62

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
9	4	3	【教育委員会】 伝建審議会開催 経費	224	306	荻町伝建地区内の現状変更申請に係る 諮問機関の開催経費。2 回開催し旧荻町駐車場 跡地利用整備等を中心に答申を受けた。	62 ～ 63
						報酬費 (伝建審議会委員 10 名) 105	
						報償費 (有識者 4 件) 80	
						旅費 (費用弁償 4 件) 37	
						需用費 (有識者宿泊費、昼食代) 84	
9	4	3	【教育委員会】 文化財保護審議 会開催経費	70	62	文化財の保存、保護、活用、調査などに ついて審議を開催するための経費。白川村指定 文化財に新たに 3 件を指定した。	62 ～ 63
						報酬費 (審議会委員 5 名) 56	
						需用費 (有識者土産品他) 6	
9	4	3	【教育委員会】 技術伝承施設管 理経費	128	242	技術伝承の保存腐朽活動の拠点施設として 活用するため、施設管理を実施することで良 好な状態を維持している。	62 ～ 63
						需用費 173	
						(障子ワロン紙消耗品 9)	
						(施設光熱水費 47)	
						(棟つつみ、水道管等修理 117)	
						委託費 (屋根雪降し、雪囲い等) 69	
9	4	3	【教育委員会】 保存財団事業補 助金	11,000	10,000	合掌造り保存財団が合掌造り集落を保存す るため為の事業費に対し補助を行う。	62 ～ 63
						補助金 10,000	

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
9	4	3	【教育委員会】 荻町伝建地区保存事業	41,668	44,559	荻町伝建地区の管理、修理、修景等を目的として補助を行う。屋根葺き 6 件、軸部 3 件を実施し、文化財を保護することができた。	62 ～ 63
						旅費 57 (文化庁現地指導旅費 17) (普通旅費 40) 需用費(補助金申請関係消耗品) 74 公有財産購入費(花植家土地 5 筆) 12,000 補助金(修理事業補助金 7 件) 32,428	
9	4	3	【教育委員会】 保存財団運営補助金	3,700	3,500	保存財団の運営に要する経費に充てるため、世界遺産保存協力寄附金から補助金として補充する。	62 ～ 63
						補助金 3,500	
9	4	3	【教育委員会】 世界遺産保存指定寄付金	3,074	3,068	世界遺産指定寄付金を合掌造り集落保存の目的により合掌造り保存財団に支出する。	62 ～ 63
						寄附金 3,068 (一般寄附金分 3,008) (ふるさと納税分 60)	
9	4	3	【教育委員会】 茅育成事業	481	995	茅の自給率の向上を目的として茅場の育成整備を行う。平成 26 年度時点で約 3ha の整備を行っている。	62 ～ 63
						委託費 995 (アワラ茅場 135) (下田茅場 379) (脇谷茅場 257) (吉原谷茅場 179) (ヲブラ茅場 45)	

9 款 教育費

(単位:千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
9	4	3	【教育委員会】 文化財保護臨時経費	1,695	3,665	文化財の保護を目的に、補助金の交付や、看板、標柱の作製、文化財候補物件の調査を実施することにより、良好な保存を行った。	62 ～ 63
						報償費 (村指定文化財調査他) 120 旅費 (費用弁償 3 件) 78 需用費 197 (樹木肥料等消耗品 26) (有識者宿泊費他 62) (放水銃他修繕 2 件 109) 委託費 613 (斉入寺測量業務 97) (文化財標柱 3 本他製作 325) (放水銃点検業務 191) 補助金 2,657 (山門修理 1 件 2,634) (樹木治療 1 件 23)	
9	4	3	【教育委員会】 旧遠山家住宅修理事業	1,695	31,666	旧遠山家の保存を目的に、腐朽した屋根の総葺替えと軸部修理を行う。平成 26 年度は屋根材料購入、耐震診断落屋の解体工事を行った。平成 27 年度に完成する予定。	62 ～ 63
						報償費 (修理活用委員 2 名) 40 旅費 82 (費用弁償 委員 2 名 58) (普通旅費 24) 需用費 36 (補助金申請用消耗品 12) (委員宿泊費 24) 委託料 (修理工事等設計管理費) 8,990 工事請負費 (保存修理事業費) 22,518	

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書	
款	項	目		25 年度	26 年度			
9	4	3	【教育委員会】 荻町伝建地区保 存臨時経費	553	545	伝建特定物件の追加作業に関わる調査を目的に、北海道大学に依頼し環境物件の絞り込み調査を実施した。	62 ～ 63	
						<table border="0"> <tr> <td>報償費（工作物環境物件調査 4 件）</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>旅費（調査に係る費用弁償 4 件）</td> <td>325</td> </tr> <tr> <td>使用料（調査用車両借上料）</td> <td>22</td> </tr> </table>		報償費（工作物環境物件調査 4 件）
報償費（工作物環境物件調査 4 件）	198							
旅費（調査に係る費用弁償 4 件）	325							
使用料（調査用車両借上料）	22							
9	4	3	【教育委員会】 旧藤坂家管理経 費	29	196	旧藤坂家住宅の保存活用を目的に維持管理を行った。平成 27 年度に観光客の休憩スペースとしての活用を計画している。	62 ～ 63	
						<table border="0"> <tr> <td>需用費（棟つつみ等修繕費）</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>（雪囲い管理委託費 14）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>（屋根雪下し業務 157）</td> <td></td> </tr> </table>		需用費（棟つつみ等修繕費）
需用費（棟つつみ等修繕費）	25							
委託料	171							
（雪囲い管理委託費 14）								
（屋根雪下し業務 157）								
9	4	3	【教育委員会】 世界遺産合掌造 り集落保存基金 積立金	11,891	6,960	せせらぎ公園駐車場により徴収した保存協力寄附金を世界遺産保護事業に充て、余剰金について基金積立を行う。	62 ～ 63	
						<table border="0"> <tr> <td>世界遺産合掌造り集落保存基金積立金</td> <td>6,960</td> </tr> </table>		世界遺産合掌造り集落保存基金積立金
世界遺産合掌造り集落保存基金積立金	6,960							

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
9	4	4	【教育委員会】 成人式開催事業	500	500	青年会の育成と村内の若者が中心となった成人式の開催を目的に、白川村遊友会へ補助金を交付した。8月14日に開催し、出席成人者数18名。	63
						補助金（成人式実行委員会）	
9	4	4	【教育委員会】 多目的活動施設 管理経費	336	439	JSC 連絡協議会柔道クラブが使用している活動施設の委託費として支出を行なった。主には公民館の使用料（電気代等）が含まれる。これにより年内の活動ができた。	63
						委託費 （戸島多目的集会施設 344） （平瀬公民館 95）	
9	4	4	【教育委員会】 少年スポーツ振興 交付金	59	67	JSC 連絡協議会の活動補助金としてそれぞれの加盟団体へ交付。各団体における活動費用の補助及び必要物品購入補助を行なった。	63
						補助金（JSC 連絡協議会）	
9	4	4	【教育委員会】 青少年研修補助 事業	1,000	1,000	村子ども会主催の読谷村交流事業における活動費用を補助した。交流会は小学校6年生を対象に参加者児童数12名と育成会員により双方の交流を夏と冬に分けて開催。子どもたちのひとり立ちを主旨として積極性・協調性ある子どもたちの姿が見られた	63
						補助金（読谷村子ども会交流）	

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
9	4	4	【教育委員会】 青少年村民育成 会議補助事業	1,305	1,325	青少年の健全育成を目的に、白川村青少年育成村民会議へ補助金を交付した。各種単位団体（子ども会育成委員会、J S C 連絡協議会、白川村遊友会）への活動補助を行い各団体の円滑な事業遂行を推進した。	63
						補助金（青少年育成村民会議）	
9	4	5	【教育委員会】 旧遠山家民俗館 管理事業	3,461	2,128	重文旧遠山家民俗館の保存活用を目的に維持管理を行った12月より保存修理工事に入るため一時休館とした。	63 ～ 64
						需用費 288 （施設管理消耗品 29） （暖房用燃料費 6） （寸志用酒代 4） （パンフレット印刷代 43） （施設光熱水費 78） （棟つつみ等修理代 128） 役務費（電話料） 18 委託料 1,741 （消防施設保守点検 78） （屋根雪下し管理業務 77） （施設管理業務 1,586） 使用料 50 （土地 2 件 35） （NHK 受信料 15） 備品購入費（ハシゴ 1 脚） 16 負担金（博物館協会、観光協会） 15	

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
9	4	6	【教育委員会】 若者等創作活動 施設管理費	5,940	1,044	<p>若者等創作活動施設の管理を目的とし、清掃作業等の管理から運営・維持にかかる必要経費を支出。年中滞りなく利用していただける施設運営が出来た。</p> <p>賃金（清掃作業 1 名） 312 報償費（施設管理 1 件） 60 需用費 537 （施設管理消耗品 21） （施設暖房用燃料費 100） （施設光熱水費 400） （暖房機器修繕費 16） 役員費 59 （電話料 43） （ピアノ調律手数料 16） 委託料（消防設備保守点検委託料） 16 使用料 57 （NHK 受信料 25） （清掃用具使用料 32） 負担金（平瀬テレビ組合） 3</p>	64

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
9	5	2	【教育委員会】 旧白川小学校体 育館改修工事	0	22,570	旧白川小学校体育館の改修に伴い、トイレの設置、トレーニングルーム・調理施設を整備しスポーツ活動の他にも筋力トレーニングや地域活動の場として誰もが使いやすい環境を整備した。	65
						委託料 (改築工事設計監理) 972	
9	5	3	【教育委員会】 学校給食センター管 理経費	7,848	6,461	保育園、小学校、中学校の児童生徒への給食提供を目的に給食調理、施設整備を実施し、安心安全な給食を提供した成果があった。	65 ～ 66
						賃金 (臨時調理員) 75 旅費 (普通旅費) 2 需用費 4,995 (調理作業用消耗品 762) (施設及び給食車燃料費 1,905) (施設光熱水費 1,902) (調理機器修繕費 6 件 423) 役務費 194 (電話料 20) (換気扇等清掃手数料 171) (給食車任意保険料 3) 委託料 689 (保冷库保守管理料 87) (保菌検査委託料 402) (生ごみ処理委託 200) 使用料 (冷蔵庫、保冷库等調理機器) 485 負担金 (岐阜県栄養士会等負担金) 21	

主要施策

10款災害復旧費

- 基盤整備課

10 款 災害普及費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
10	1	2	【基盤整備課】 牛首林道災害復 旧事業	6,369	4,065	牛首林道の災害が発生したことによる、路 肩の復旧工事（ブロック積工）を行った。 工事請負費（牛首林道災害復旧） 4,065	66
10	2	1	【基盤整備課】 公共土木施設災 害復旧事業	5	16	土木災害事業による積算資料等の購入 需用費（参考文献 2 冊） 16	66

主要施策

11款 公債費

- 総務課

11 款 公債費

(単位:千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
11	1	1	【総務課】 公債費元金	304,556	309,711	<p>一般会計における普通建設事業等のため借り入れを行った村債について、元金を返済した。</p> <hr/> <p>公債費元金 309,711</p> <p>(地方公共団体金融機構 8,033)</p> <p>(財務省東海財務局 159,826)</p> <p>(ゆうちょ銀行 39)</p> <p>(岐阜県市町村振興協会) 11,000)</p> <p>(JA 白川支店 63,427)</p> <p>(かんぽ生命保険 67,386)</p>	66
11	1	2	【総務課】 公債費利子	32,147	30,751	<p>一般会計における普通建設事業等のため借り入れを行った村債について、利子を返済した。</p> <hr/> <p>公債費利子 28,357</p> <p>(地方公共団体金融機構 2,331)</p> <p>(財務省東海財務局 21,309)</p> <p>(岐阜県市町村振興協会 33)</p> <p>(ゆうちょ銀行 0)</p> <p>(JA 白川支店 2,670)</p> <p>(かんぽ生命保険 2,014)</p>	66

主要施策

特別会計

- 目的別

主要施策

国民健康保険 (事業勘定の部)

- 村民課

国民健康保険特別会計（事業勘定の部）

【歳入】

（単位：千円）

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
国民健康保険料	42,889	19.3	42,030	18.4	△ 859	△ 2.0
使用料及び手数料	0	0.0	0	0.0	0	—
国庫支出金	55,940	25.2	55,268	24.2	△ 672	△ 1.2
療養給付費等交付金	7,108	3.2	4,602	2.0	△ 2,506	△ 35.3
前期高齢者交付金	51,318	23.1	53,430	23.4	2,112	4.1
県支出金	14,835	6.7	14,248	6.2	△ 587	△ 4.0
財産収入	175	0.1	91	0.0	△ 84	△ 48.0
繰入金	8,789	4.0	30,268	13.2	21,479	244.4
繰越金	16,366	7.4	12,297	5.4	△ 4,069	△ 24.9
共同事業交付金	24,299	11.0	16,309	7.1	△ 7,990	△ 32.9
諸収入	5	0.0	14	0.0	9	180.0
歳入合計	221,724	100.0	228,557	100.0	6,833	3.1

【歳出】

（単位：千円）

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
総務費	3,456	1.7	4,625	2.1	1,169	33.8
保険給付費	132,949	63.5	127,410	59.0	△ 5,539	△ 4.2
前期高齢者納付金当	31	0.0	23	0.0	△ 8	△ 25.8
後期高齢者支援金等	29,562	14.1	28,863	13.4	△ 699	△ 2.4
介護納付金	11,779	5.6	12,165	5.6	386	3.3
共同事業拠出金	23,182	11.1	22,257	10.3	△ 925	△ 4.0
保健事業費	2,438	1.2	2,345	1.1	△ 93	△ 3.8
基金積立金	175	0.1	90	0.0	△ 85	△ 48.6
諸支出金	5,854	2.8	18,161	8.4	12,307	210.2
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
老人保健拠出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
歳出合計	209,427	100.0	215,940	100.0	6,513	3.1

■平成26年度決算の概要

保険料収入については、国保加入世帯（被保険者数）、所得の減等の理由により保険料収入が減額となっている。

医療費については、減少しているが、1件あたりの医療費が高額となっている。基金繰入金については、特別調整交付金の減、前年度療養給付費の返還金が11,255千円となったため基金の取り崩しを行った。

科目コード			事業名	決 算 額		内 容（成果）	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
7	1	1	【村民課】 特定健康診査等 事業費	1,250	1,159	<p>高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施することにより、生活習慣病の予防、早期発見、重症化予防に努めることができた。</p> <p>手数料（特定保健指導） 66 委託料（健康診査） 1,093</p>	14
7	2	1	【村民課】 保健衛生普及費	1,188	1,186	<p>国保加入者の健康増進を図るため、住民健診の実施や医療費通知書を発送し、健康管理の啓発を行った。</p> <p>需用費 118 （エイズパンフ購入消耗品 550部 25） （高齢者運動会昼食費 86人分 93） 役務費（医療費通知作成手数料） 23 委託料（がん検診 久美愛病院） 944 負担金（国保連合会 1年分） 100</p>	14
8	1	1	【村民課】 基金積立金	175	90	<p>財源不足が生じ際の自主財源として基金を保有しており、基金保有額に係る利息分を同基金へ積立を行った。</p> <p>基金積立金 90 （年度末基金保有額 9,280）</p>	14

主要施策

国民健康保険 (直診勘定の部)

- 村民課

国民健康保険特別会計（直診勘定の部）

【歳入】

（単位：千円）

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
診 療 収 入	61,973	63.2	58,461	28.8	△ 3,512	△ 5.7
県 補 助 金	0	0.0	27,592	13.6	27,592	皆増
介護サービス収入	0	0.0	0	0.0	0	—
使用料及び手数料	364	0.4	464	0.2	100	27.5
繰 入 金	23,113	23.6	32,700	16.1	9,587	41.5
繰 越 金	8,130	8.3	8,593	4.2	463	5.7
諸 収 入	4,457	4.5	5,261	2.6	804	18.0
村 債	0	0.0	70,000	34.5	70,000	皆増
歳 入 合 計	98,037	100.0	203,071	100.0	105,034	107.1

【歳出】

（単位：千円）

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
総 務 費	56,948	63.7	165,990	84.5	109,042	191.5
医 業 費	30,304	33.9	28,195	14.4	△ 2,109	△ 7.0
公 債 費	2,192	2.5	2,194	1.1	2	0.1
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	—
歳 出 合 計	89,444	100.0	196,379	100.0	106,935	119.6

■平成26年度決算の概要

【歳入の部】

本年度は新白川診療所移転新築事業実施により、木造施設整備補助及び事業に係る村債や一般財源からの繰入金が増となった。

診療収入については、利用者の医療費負担軽減のために後発医薬品（ジェネリック）の積極的な導入を進めている。このため診療収入については減となっている。

【歳出の部】

白川診療所が老朽化による改修等が必要となる中で、荻町集落内にあることから景観上の対策。また、観光車両等への対策に関し一定の方向性に定まったことから、鳩谷集落への移転・新築を実施した。このため、新白川診療所移転新築事業費 107,896 千円により全体歳出が増となっている。診療に関わる歳出については、後発医薬品の導入により歳出減に努めた。

国民健康保険特別会計（直診勘定の部）

（単位：千円）

科目コード			事業名	決算額		内 容（成果）	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
1	1	1	【村民課】 診療所改修事業	1,444	183	<p>安心安全な診療環境を整える目的で、施設設備の修理を行った。白川診療所にあつては、取壊しが決まっていたことから必要最小限の修繕を実施した。</p>	8 ～ 9
						<p>需用費 183</p> <p>（白川診療所トイレ修繕 19） （白川診療所X線漏電修理 10） （白川診療所ブルーヒーター修理 8） （白川診療所車庫シャッター修理 23） （往診車修理 115） （平瀬診療所電気配線修理 8）</p>	
1	1	1	【村民課】 新白川診療所移転 新築事業	0	107,896	<p>白川診療所の老朽化対策並びに世界遺産保護対策を目的に鳩谷集落内に移転新築を行った。診療所機能の充実並びに世界遺産保護対策の向上が図られた。</p>	8 ～ 9
						<p>役務費（トイレ解体時清掃手数料） 81 委託料 5,749 （診療所建設設計監理 4,147） （X線装置等解体撤去 1,602） 工事請負費（新白川診療所） 98,095 公有財産購入（用地取得） 1,911 備品購入費（医療用備品） 1,980 補償費（用地取得補償） 80</p>	
2	1	4	【村民課】 検査委委託等経費	834	1,053	<p>患者の血液検査の迅速かつ高度な分析を行うためファルコバイオシステムズ（旧飛騨臨床検査センター）に委託を行った。</p>	10
						<p>委託料（血液検査等両診療所分） 1,053</p>	

主要施策

簡易水道

- 基盤整備課

簡易水道特別会計

【歳入】

(単位：千円)

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
使用料及び手数料	20,244	33.9	20,565	29.9	321	1.6
繰入金	28,831	48.3	45,570	66.2	16,739	58.1
繰越金	87	0.1	70	0.1	△ 17	△ 19.5
村債	10,500	17.6	2,600	3.8	△ 7,900	△ 75.2
歳入合計	59,662	100.0	68,805	100.0	9,143	15.3

【歳出】

(単位：千円)

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
総務費	33,450	56.1	36,873	53.8	3,423	10.2
公債費	26,142	43.9	31,618	46.2	5,476	20.9
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
歳出合計	59,592	100.0	68,491	100.0	8,899	14.9

■平成26年度決算の概要

【歳入の部】

給水人口が減少したことにより使用料金収入が減となった。使用料の減収を補填するため及び、公債費に係る経費が増えたため、一般会計からの繰入金が増額となった。

【歳出の部】

安定した水道水の供給を目的に、鳩谷地区に新たに配水管を布設する大郷給水区配水管新設工事を行ったために総務費が増額となった。また、大郷簡易水道改良事業に係る公債費の償還期間が始まったことにより増額となった。

簡易水道特別会計

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
1	1	2	【基盤整備課】 施設管理経費	25,151	31,069	水道水の安全安定供給を図るために水道施設（浄水場4箇所、管渠延長約40km）の維持管理を行った。配水管の布設替えや流量計を更新する工事等を行った。	6 ～ 7
						報償費（水質検査1名） 36 需用費 5,816 （消毒用塩素他消耗品 139） （水道施設電気料 3,699） （配水管・量水計等修繕料 7,109） 役務費（給水施設監視電話料他） 181 委託料 4,458 （簡易水道布設替設計業務 490） （村内給水区管理業務 1,824） （水質検査・腸内検査 2,144） 使用料（平瀬配水池等敷地料） 80 工事請負費 14,949 （教員住宅給排水設備工事 1,805） （小白川浄水場配水量計工事 2,473） （大郷給水区配水管新設工事 4,385） （牧浄水場改修工事 6,286） 原材料費（直読式量水器他） 418	
2	1	1	【基盤整備課】 公債費元金	19,159	24,817	借入金に係る公債費	7
						事業債償還金元金 24,817 （地方公共団体金融機構 1,254） （財務省東海財務局 23,563）	
2	1	2	【基盤整備課】 公債費利子	6,983	6,800	借入金返済に伴う利子	7
						事業債償還金元金 6,800 （地方公共団体金融機構 2,628） （財務省東海財務局 4,172）	

主要施策

温泉開発

- 基盤整備課

温泉開発特別会計

【歳入】

(単位：千円)

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
使用料及び手数料	18,934	27.1	18,964	23.6	30	0.2
財 産 収 入	0	0.0	0	0.0	0	—
繰 入 金	44,509	63.7	60,152	75.0	15,643	35.1
繰 越 金	6,404	9.2	1,071	1.3	△ 5,333	△ 83.3
諸 収 入	0	0.0	0	0.0	0	—
歳 入 合 計	69,847	100.0	80,187	100.0	10,340	14.8

【歳出】

(単位：千円)

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
総 務 費	22,296	32.4	33,720	43.0	11,424	51.2
公 債 費	46,480	67.6	44,748	57.0	△ 1,732	△ 3.7
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	—
歳 出 合 計	68,776	100.0	78,468	100.0	9,692	14.1

【歳入の部】

使用料及び手数料は、温泉の安定供給ができたことにより、温泉停止日数が減となった為前年比増となったが、繰入金については、温泉施設の老朽による修繕費が増となった為、一般会計からの繰入金が増となった。

【歳出の部】

総務費にあつては、温泉施設の老朽による修繕費の増と、温泉利用者1名の温泉使用取りやめによる分担金の返還金が発生したことにより総務費の増となった原因である。

公債費にあつては、起債額を計画的に償還しています。起債残額の減少にともない年間償還額が減少している。

温泉開発特別会計

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
1	1	1	【基盤整備課】 施設・送湯管修繕	9,983	10,870	温泉の安定供給を目的として、施設管理を実施している。老朽化による、源泉施設及び送湯管施設の修繕を行い維持管理に努めた。 (スケール除去修繕・送湯管老朽による漏水修繕・施設全般機器修繕。)	6
						需用費 (井戸スケール除去・ポンプ修繕他)	
2	1	1	【基盤整備課】 公債費元金	44,762	43,498	施設整備に係る財源として要した起債を計画的に償還する経費。	6
						事業債償還金元金 (株かんぼ生命保険 32,351) (財務省東海財務局 11,478)	
2	1	2	【基盤整備課】 公債費利子	1,718	1,250	施設整備に係る財源として要した起債の償還元金に対する利息。	6
						事業債償還金利子 (株かんぼ生命保険 934) (財務省東海財務局 316)	

主要施策

白弓スキー場

- 観光振興課

白弓スキー場特別会計

【歳入】

(単位：千円)

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
事業収入	4,961	24.4	4,103	15.3	△ 858	△ 17.3
繰入金	13,536	66.5	21,786	81.2	8,250	60.9
繰越金	1,844	9.1	938	3.5	△ 906	△ 49.1
歳入合計	20,341	100.0	26,827	100.0	6,486	31.9

【歳出】

(単位：千円)

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
総務費	252	1.3	309	1.3	57	22.6
運営管理費	13,872	71.5	19,085	77.4	5,213	37.6
公債費	5,279	27.2	5,279	21.4	0	0.0
諸支出金	0	0.0	0	0.0	0	—
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
歳出合計	19,403	100.0	24,673	100.0	5,270	27.2

【歳入】

平成26年度は、特に大きな事故や雪不足による休業もなく営業を行うことができた。事業収入は対前年度比17.3%の減少となっている。主な要因としては、岐阜県のパトロールの講習やスノーボードの大会の開催などを実施し幅広い客層に対応をする努力をしている。一方、スキークラブ員のリフト券の補助等の見直しや、小中学生の児童生徒数の減少により収入額が落ち込んでいる。

【歳出】

平成26年度は、第3ロマンスリフト柱受索設備の修繕を行ったため、運営管理費が増額となっている。降雪が安定したこともあり雪不足による休業もなく、大きな事故もなかったため歳出は安定している。

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		25年度	26年度		
2	1	1	【観光振興課】 圧雪管理事業	4,800	4,800	シーズン中の安全かつ快適なゲレンデ整備を目的に圧雪管理を業者に委託したことにより、シーズンを通して滞りなく営業ができた。 委託料(圧雪業務委託料) 4,800	6
2	1	1	【観光振興課】 索道管理費	3,352	7,810	第2 ロマンリフトは長年使用し老朽化が進む中において、安全な施設運営を進めるため適切な修理工事等を行った。 旅費 9 (索道技術管理研修費用弁償 4) (普通旅費 5) 需用費 (スキー場機具 1) (リフト電気料 688) 役務費(リフト保安業務手数料) 59 委託料 1,864 (索道施設保守業務 572) (索道技術管理業務 162) (リフト機器取付・取外業務他 1,150) 工事請負費(第3リフト修繕工事) 5,130 負担金(中部鋼索交通協会) 37	6
3	1	1	【観光振興課】 公債費元金	5,094	5,161	平成15年度に実施した第2 ロマンリフト延線工事費用の財源として起債いた元金の償還。 事業債償還金元金 5,094 (株かんぼ生命保険)	7
3	1	2	【観光振興課】 公債費利子	250	118	平成15年度に実施した第2 ロマンリフト延線工事費用の財源として起債した元金に係る利子 事業債償還金元金 118 (株かんぼ生命保険)	7

主要施策

公共下水道

- 基盤整備課

公共下水道特別会計

【歳入】

(単位：千円)

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
分担金及び負担金	267	0.1	990	0.7	723	270.8
使用料及び手数料	28,554	15.5	29,482	20.8	928	3.2
財 産 収 入	552	0.3	294	0.2	△ 258	△ 46.7
繰 入 金	140,188	76.0	57,396	40.6	△ 82,792	△ 59.1
繰 越 金	1,113	0.6	908	0.6	△ 205	△ 18.4
国 庫 支 出 金	7,200	3.9	28,635	20.2	21,435	297.7
諸 収 入	0	0.0	695	0.5	695	皆増
村 債	6,500	3.5	23,100	16.3	16,600	255.4
歳 入 合 計	184,374	100.0	141,500	100.0	△ 42,874	△ 23.3

【歳出】

(単位：千円)

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
総 務 費	76,811	41.9	119,933	85.9	43,122	56.1
公 債 費	106,655	58.1	19,619	14.1	△ 87,036	△ 81.6
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	—
歳 出 合 計	183,466	100.0	139,552	100.0	△ 43,914	△ 23.9

■平成26年度決算の概要

財政安定化を図るため、公債費の削減を目的として平成25年度までに利率の高い起債を優先的に繰上償還してきたことにより、起債残高が減少し公債費に係る費用が大幅に削減することができた。こうした取り組みにより、元利償還金に充当していた一般会計からの繰入金を削減することができた。

平成24年度には、供用開始から15年以上経過し施設も老朽化してきた白川クリーンセンターの長寿命化計画を作成し、この計画を基に平成25年度詳細設計、平成26年度より工事実施を進めたことにより、工事請負費に係る費用の増大に伴い、財源となる国費及び起債が増額となった。

また、同時に村内の浄化槽及びし尿汚泥を白川クリーンセンターにて処理する計画も策定し、平成26年度より工事を開始した。

公共下水道特別会計

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
1	1	1	【基盤整備課】 下水道等基金費	5,000	5,000	処理場の大規模改修や汚泥処分施設の整備に備え財源の確保を目的とした基金を積立。 積立金 5,000 (年度末保有額 100,000)	7
1	1	3	【基盤整備課】 特定環境保全公共 下水道事業	14,490	54,474	白川クリーンセンター電気設備の更新を行い施設の長寿命化を図った。 村内各所のし尿・浄化槽汚泥を白川クリーンセンターへ受け入れるための設備整備を行った。 工事請負費 54,474 (電気設備改修 44,280) (汚水受入施設築造工事 5,386) (汚泥貯留槽改造工事 4,808)	8
2	1	1	【基盤整備課】 公債費元金	96,762	17,480	利率の高い起債を優先的に繰上償還を行ったことにより起債残高が減少した。 事業債償還金元金 17,480 (地方公共団体金融機構 3,870) (財務省東海財務局 13,610)	8
2	1	2	【基盤整備課】 公債費利子	9,893	2,139	地方債の償還に伴う利子。 事業債償還金利子 2,139 (地方公共団体金融機構 854) (財務省東海財務局 1,285)	8

主要施策

介護保険 (保険事業勘定)

- 村民課

介護保険特別会計（保険事業勘定）

【歳入】

（単位：千円）

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
保 険 料	33,806	18.1	35,183	17.5	1,377	4.1
使用料及び手数料	1	0.0	2	0.0	1	100.0
国 庫 支 出 金	44,552	23.8	45,899	22.8	1,347	3.0
支 払 基 金 交 付 金	48,873	26.2	51,435	25.6	2,562	5.2
県 支 出 金	24,981	13.4	25,993	12.9	1,012	4.1
財 産 収 入	32	0.0	5	0.0	△ 27	△ 84.4
繰 入 金	28,982	15.5	34,862	17.3	5,880	20.3
繰 越 金	5,634	3.0	6,516	3.2	882	15.7
諸 収 入	1	0.0	1,100	0.5	1,099	109,900.0
歳 入 合 計	186,862	100.0	200,995	100.0	14,133	7.6

【歳出】

（単位：千円）

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
総 務 費	3,413	1.9	7,091	3.7	3,678	107.8
保 険 給 付 費	170,003	94.3	178,528	92.9	8,525	5.0
地 域 支 援 事 業 費	4,334	2.4	4,554	2.4	220	5.1
諸 支 出 金	2,563	1.4	1,971	1.0	△ 592	△ 23.1
基 金 積 立 金	32	0.0	5	0.0	△ 27	△ 84.4
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	—
歳 出 合 計	180,345	100.0	192,149	100.0	11,804	6.5

保険給付費は178,528千円で、前年度より8,525千円の増額となりました。介護サービス給付費が増加しており、要介護認定者数の変動は少ないが、全体に介護度が重度化したことにより増加の要因となっている。

第5期事業計画の推計の積算が過少なこと。また、第5期の保険料増額が過少であることから財政的安定が困難な状況にある。次期計画期間（H26～H28）以降は、さくら山荘の増床などにより大幅な保険料の引上げを必要とする見込みである。

介護保険特別会計（保険事業勘定の部）

（単位：千円）

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
1	4	1	【村民課】 計画策定委員会費	0	2,282	当該計画策定委員会を開催し、第6期の介護保険料の決定及び介護保険計画の運営方法等に係る事業計画を策定した。	9
						報酬（委員報酬） 55 委託料（第6期介護保険事業計画） 2,227	
2	1	1	【村民課】 居宅介護サービス給付費	107,343	111,460	要介護者が安心して生活がおくられるよう支援する。要介護認定者が増加しそれに伴い、給付費の額、住宅改修、福祉用具購入の支給対象者が増加した。	9
						負担金（国保連合会他） 111,460	
2	1	2	【村民課】 施設介護サービス給付費	43,157	47,551	要介護者が安心して生活がおくられるよう支援する。介護認定者の介護施設への入所数に大きな成果があり、それに伴い給付費が増加した。	9 ～ 10
						委託料（国保連合会） 47,551	
5	1	1	【村民課】 財政調整基金積立金	32	5	介護に係る費用が増大している中で、第6期介護保険料の増額を抑制するために基金を取り崩し、保険料増額の幅を抑制した。	11
						積立金（財政調整基金） 5 （年度末基金保有額 32）	

介護保険

主要施策

(サービス事業勘定)

- 村民課

介護保険特別会計（サービス事業勘定の部）

【歳入】

（単位：千円）

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
サービス収入	226	6.9	236	8.0	10	4.4
繰越金	3,071	93.1	2,723	92.0	△ 348	△ 11.3
諸収入	0	0.0	0	0.0	0	—
歳入合計	3,297	100.0	2,959	100.0	△ 338	△ 10.3

【歳出】

（単位：千円）

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
総務費	574	100.0	579	100.0	5	0.9
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
歳出合計	574	100.0	579	100.0	5	0.9

■平成26年度決算の概要

【歳入の部】

歳入においては、前年比収入額が10.3%（33万8千円）の減となった。主な要因としては、前年度からの繰越金の減額によって34万8千円の減となった。

【歳出の部】

歳出においては、介護予防ケアマネジメント委託料及び管理システム利用料が主な事業である。

科目コード			事業名	決 算 額		内 容（成果）	決算書	
款	項	目		25 年度	26 年度			
1	1	1	【村民課】 一般管理費	574	579	村の地域包括支援センターから要支援対象者に対して、適切な介護予防ケアマネジメントを行った。	6	
						需用費（プリンター等消耗品）		217
						役務費（情報通信料他）		90
						委託料（介護予防ケアマネジメント）		13
						使用料（介護システム ASP リース料）		259

主要施策

後期高齢者医療

- 村民課

後期高齢者医療特別会計

【歳入】

(単位：千円)

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
後期高齢者医療保険料	17,232	67.7	17,073	67.7	△ 159	△ 0.9
使用料及び手数料	0	0.0	0	0.0	0	—
後期高齢者医療 広域連合支出金	619	2.4	610	2.4	△ 9	△ 1.5
繰入金	7,300	28.7	7,261	28.8	△ 39	△ 0.5
繰越金	285	1.1	258	1.0	△ 27	△ 9.5
諸収入	0	0.0	0	0.0	0	—
歳入合計	25,436	100.0	25,202	100.0	△ 234	△ 0.9

【歳出】

(単位：千円)

款 別	平成25年度		平成26年度		差引増減	前年度 伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
総務費	549	2.2	609	2.4	60	10.9
後期高齢者医療 広域連合納付金	23,874	94.8	23,684	94.4	△ 190	△ 0.8
保険事業費	755	3.0	790	3.1	35	4.6
諸支出金	0	0.0	0	0.0	0	—
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
歳出合計	25,178	100.0	25,083	100.0	△ 95	△ 0.4

■平成26年度決算の概要

後期高齢被保険者は24年度(4/1) 282人、25年度(4/1) 289人

26年度の保険料収納率 100.00%

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		25 年度	26 年度		
1	2	1	【村民課】 保険料賦課事業	578	605	<p>保険に係る納税者に対し保険料賦課額を通知し、適正な賦課徴収を実施した。</p> <p>需用費（保険料納付通知書消耗品） 225 委託料（保険料納付書発行業務） 380</p>	6
2	1	1	【村民課】 後期高齢者医療広域連合納付金	23,874	23,684	<p>医療事務の広域化に伴い、後期高齢者医療広域連合会に対する保険料並びに事務費に係る負担金の納付を行った。</p> <p>負担金 23,684 （保険料負担金 17,236） （広域連合事務費負担金 6,448）</p>	6
3	1	1	【村民課】 保健事業費	725	790	<p>被保険者の健康管理を推進するため、すこやか検診事業を行った。</p> <p>委託金 790 （後期高齢者検診委託料 760） （検診データ処理業務委託料 30）</p>	6